

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイ 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	判断基準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—		
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—		

全:すべてのループの器の合数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ 送水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ 操作		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サブ水位(装載)	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サブ水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—

全:すべてのループの器の台数  
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	操作	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	2(2)	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)								
		燃料取扱用水ピット水位				2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位				2(2)	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(CAM用)	1	1		1	1	0	1	—
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1		1	1	0	1	—
		燃料取扱用水ピット水位				2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)				2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの器の台数  
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 操作 代替給水ポンプを本配とした可搬型大流量送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		2	2	0	2	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2	2	1	1	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	原子炉下部キャセティ水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		1	1	0	1	—	—	—	—	—
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
補助給水ピット水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—	
	1	1	0	1	—	—	—	—	—	
B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—	
	1	1	0	1	—	—	—	—	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレインブレイ	操作	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位					2(2)	2	1	1
		補助給水ピット水位					2(2)	2	1	1
		B-格納容器スプレインブレイ流量計(AM用)	1	1	0	0	1	1	0	1
		代替格納容器スプレインブレイ出口積算流量	1	1	0	1	1	0	1	—
		燃料取扱用水ピット水位				2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)				3(2)	2	1	1	—

注: すべてのループの計器の合計数  
A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ	判断基準 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
原子炉格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	0	—	—	—	—	—		
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	2	1	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
原子炉格納容器スプレイ(注)	1	1	1	0	—	—	—	—		
代替格納容器スプレイ(注)	1	1	1	0	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
代替格納容器スプレイ	操作	計器名称	原子炉下部キャビティ水位											
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	1	1	1	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	1	1	1	
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	1	1	1	
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(CAM用)	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1
		代替格納容器スプレイサンプ出口積算流量	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	2	1	1	1
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	2	1	1	1
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	3(2)	2	0	0	3(2)	2	1	1	3(2)	1	1	1
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	2	2	0	0	2	0	0	0
ろ過水タンク水位	2	2	0	0	2	2	0	0	2	0	0	0		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響		評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	計器名称			計器数 ( )内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレインプによる代替格納容器 スプレインプ	判断基準	油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	4(2)	4	1	1	—	—	
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	0	4	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	—	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	1	1	①	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	4	4	0	0	0	0	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	1	1	①	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	1	1	1	1	1	1	ケース 6
		炉心出口温度	1	0	1*1	②	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	3(3)	3	3	3	3	3	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	0	3	(全)	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	3(3)	3	3	3	3	3	ケース 6
1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	0	3	(全)	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	3(3)	3	3	3	3	3	ケース 6		
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	0	3	(全)	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	3(3)	3	3	3	3	3	ケース 6		
1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	0	3	(全)	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	3(3)	3	3	3	3	3	ケース 6		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響		評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	計器名称			計器数 ( )内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	4(2)	4	1	1	ケース 6	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	2	2	0	2	ケース 6	
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	0	2	①	—	—	—	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	①	—	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	4(2)	4	1	1	1	ケース 1
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	2	2	①	—	—	1	1	0	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	①	—	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	4(2)	4	1	1	1	ケース 1
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	2	2	①	—	—	1	1	0	0	0	ケース 1
		格納容器水位	1	1	1	1	①	—	—	1	1	0	0	1	ケース 1
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 6
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	①	—	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 6
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	1	1	①	—	—	1	1	0	0	1	ケース 6
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	1	①	—	—	1	1	0	0	1	ケース 6

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ	判断基準	格納容器再循環サンプ水 位(低域)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水 位(低域)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		格納容器内高レベルアラーム アラーム(高レベル)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レベルアラーム アラーム(高レベル)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		蒸気発生器水位(低域)	3(3)	3	2 (A,C)	1 (B)	①	—	蒸気発生器水位(低域)	3(3)	3	0	3 (全)	ケース 4
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3	3 (全)	1 (B)	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3	0	3 (全)	ケース 4
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3 (全)	0	ケース 4	
								1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 4	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		B:直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレインフによる代替格納容器スプレイ	判断基準	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3(全)	3(全)	①	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)	ケース 1
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	3(全)	①	—	1次冷却材温度(広域-低温度)	3(3)	3(全)	0	3(全)	ケース 4
		補助給水流速	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 4
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)
													—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	操作	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	①			2(2)	1	ケース 1
		燃料取扱用水ピット水位								2(2)	1	ケース 2
		補助給水ピット水位								2(2)	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量								1	0	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量								1	0	ケース 2
		燃料取扱用水ピット水位								2(2)	1	ケース 3
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	①			2(2)	1	ケース 3
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)								2(2)	1	ケース 3
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)								2(2)	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量								1	0	ケース 2
代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	操作	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①			2(2)	1	ケース 2
		補助給水ピット水位								2(2)	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量								1	0	ケース 2
									2(2)	1	ケース 2	
									2(2)	1	ケース 2	
									1	0	ケース 2	
									—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ B-格納容器スプレイポン プ(自己冷却)による代替 格納容器スプレイ	明 断 基 準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ	操 作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	2	2	0	2	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	0	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(仮)	2(2)	2	2	0	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャセティ水 位	1	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—		
B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	1	—		
代替格納容器スプレイ 出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ B-格納容器スプレイポン プ(自己循環)による代替 格納容器スプレイ	操作	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		B-格納容器スプレイポン プ補機冷却水流量	1	1	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	
		B-格納容器スプレイポン プ電動機補機冷却水流量	1	1	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	B-格納容器スプレイ流 量	1	1	1	0	—	
									B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	1	0	1	—
									代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	1	1	0	1	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	—
									格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B/O):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ ディーゼル駆動消火ポン プによる代替格納容器ス プレイ	判断基準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	0	—	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	0	0	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
原子炉格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(A:AM 用)	1	1	0	0	—	—	—	—	—		
代替格納容器スプレイボ ンプ出口積算流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ	海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	2	2	0	2	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	0	—	—	—	2	1	0	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	2	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	4	1	1	—
		格納容器圧力(後継)	1	1	2	2	—	—	—	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	0	—	—	—	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(表鏡)	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	2	2	—	—	—	1	0	1	—
全:すべてのループの器の合数 A(B,C):当該ループの計器数	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	格納容器水位	1	1	1	1	—	—	1	0	1	—	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2	1	1	—	
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
		B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(A M用)	1	1	2	2	—	—	—	1	0	1	—
代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1	2	2	—	—	—	1	0	1	—		

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	判断基準 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	1	1	0	0	—	—	—	—	—
		1	1	0	1	—	—	—	—	—

全：すべてのループの器の合数  
A(B,C)：当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
代替格納容器スプレイ 判断基準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
		4(2)	4	1	1	—	—	—	2(2)	2	0	2	—
		2	2	0	2	—	—	—	1	1	0	0	—
		2	2	0	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	判断基準	1	1	0	0	—	—	—	—	—
		1	1	0	1	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

[ ] の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ 原水槽を水源とした可搬 型大型送水ポンプ車によ る代替格納容器スプレイ 判断基準		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—
		代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	判断基準 原水槽を水廻りした可搬型(即送水ポンプ車)による代替格納容器スプレイ	1	1	0	0	—	—	—	—	—
		1	1	0	1	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直建機を 延命した場合	B直建機を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	A直建機を 延命した場合	B直建機を 延命した場合				
炉心注水 高圧注水ポンプ又は余熱除去ポンプによる高圧又は低圧注水ラインを使用した炉心注水	判断基準 炉心注水	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	3(3)	3 (全)	0	ケース 1	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—
		格納容器内高圧レンジモニタ(高圧レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 1
		モニタリングホスト	7	7	0	0	7	7	0	0	0	ケース 1	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数  
\* 1 常用系から換装を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A.電源喪失 延命した場合	B.低流量 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A.電源喪失 延命した場合	B.低流量 延命した場合		
炉心 注水 操作 高圧注入ポンプ又は余熱 除去ポンプによる順正注 は既に行われた 注した炉心注水	炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	-	3(3)	3 (全)	0	ケース 1
	加圧器水位	4(2)	4	4	1	①	-	2(2)	2	1	ケース 6
	原子炉容器水位	1	1	1	1	①	-	2(2)	2	1	ケース 6
	加圧器水位	4(2)	4	4	1	①	-	2(2)	2	1	ケース 6
	原子炉容器水位	1	1	1	1	①	-	2(2)	2	1	ケース 6
	加圧器水位	4(2)	4	4	1	①	-	2(2)	2	1	ケース 6
	原子炉容器水位	1	1	1	1	①	-	2(2)	2	1	ケース 6
	加圧器水位	4(2)	4	4	1	①	-	2(2)	2	1	ケース 6
	原子炉容器水位	1	1	1	1	①	-	2(2)	2	1	ケース 6
	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	①	-	4(2)	4	1

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

AB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直後建機を 延命した場合	自直後電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直後建機を 延命した場合	自直後電源を 延命した場合			
炉心注水 高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる高圧又は低圧注入ラインを使用した炉心注水	操作	計器名称	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		低圧注入流量										
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	2	2	0	0	2	ケース 3
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	2	2	0	0	2	ケース 3
		計器名称	2	2	0	0	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		燃料取替用水レベル水位										
		加圧器水位										
		原子炉容器水位										
		格納容器再循環サンブ水位(広域)										
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	2	2	0	0	ケース 3	
		高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ										
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	2	2	0	0	ケース 3	
		余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ										
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	2	2	0	0	ケース 3	
		余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ										

全:すべてのループの計器の合計数  
AMB(O):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直後電源を 延命した場合	計器名称			計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直後電源を 延命した場合	B:直後電源を 延命した場合		
炉心注水 ラタンを使用した炉心注水 断基準	炉心出口温度	1	1	0	1※1	②	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
	加圧器水位	4(2)	4	4	1	①	—	原子炉容器水位 サブクール度	1	1	1	1	ケース 1
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—
	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	加圧器水位 原子炉容器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
	高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	—	格納容器圧縮機サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	—	加圧器水位 原子炉容器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
	高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	高圧注入ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—
余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直後建機を 延命した場合	自直後電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直後建機を 延命した場合	自直後電源を 延命した場合				
代替 炉心 注水 B-格納容器スプレイン プ(RIERS-CSS連絡タイ ン使用)による代替炉心注 水 判断 基準	炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	-	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	ケース 1
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	-	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	燃料取扱専用水位	2(2)	2	1	1	①	-	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1
	充てんライン圧力	1	1	0	0	③	充てんポンプの運転状態を確認するパ ラメータ	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6
	燃料取扱専用水位	2(2)	2	1	1	①	-	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6
	充てん流量	1	1	0	0	②	-	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
	燃料取扱専用水位	2(2)	2	1	1	①	-	燃料取扱専用水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	②	-	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
	原子炉容器水位	1	1	0	0	②	-	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
	格納容器内循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	①	-	格納容器内循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	1

全:すべてのループの計器の合計数  
AB,C:当該ループの計器数  
\*1 常用系から抜線を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等  
溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直建建物を 延命した場合	B:直建建物を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直建建物を 延命した場合	B:直建建物を 延命した場合					
代替 炉心 注水  代替格納容器スプレイ系 シンプによる代替炉心注水  判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	-	-	3(3)	3 (全)	0	0	ケース 1	
		4(2)	4	1	1	①	-	-	2(2)	2	1	1	ケース 6	
	B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	②	-	-	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
		1	1	1	1	①	-	-	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	-	-	-	-	-	-	-	-
		2(2)	2	1	1	①	-	-	-	-	-	-	-	-

全:すべてのループの計器の合計数  
AB,C:当該ループの計器数  
\* 1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直建機を 延命した場合	自直建機を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直建機を 延命した場合	自直建機を 延命した場合					
代替炉心注水 電動機駆動消火ポンプ又は ファイバーセル駆動消火ポンプ による代替炉心注水 判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(全)	3	0	0	—
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
	代替格納容器スプレッド ポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—
	る過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
									1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3	3	0	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
									原子炉容器水位	1	1	1	1	—
									格納容器圧縮機サンプリング 水位(広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
AB,C:当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同し39点を連続監視可能

「」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				ハバメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	A或は建屋を 延命した場合			計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	A或は建屋を 延命した場合		B或は電源を 延命した場合	
代替炉心注水 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 炉心注水	判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		代替格納容器スプレッド ポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
								サブクール度	1	1	1	0	—	
								1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	—	
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	
								補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	
								加圧器水位	4(2)	4	4	1	—	
								原子炉容器水位	1	1	1	1	—	
								格納容器圧縮機サンプル水 位(広域)	2(2)	2	2	1	—	

全:すべてのグループの計器の合計数

A,B,C:当該グループの計器数

\*1

常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				ハバメータ分類	補助的ハバメータ分類理由	抽出パラメータの代替ハバメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合 B:直流通電を 延命した場合			計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合 B:直流通電を 延命した場合		
代替炉心注水 判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		4(2)	4	1	1	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	加圧器水位	1	1	0	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
	代替格納容器スプレッド ポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—
								1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
								原子炉容器水位	1	1	1	1	—
								格納容器圧縮機サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのグループの計器の合計数

A,B,C:当該グループの計器数

\*1

常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合 B:直流通電を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合 B:直流通電を 延命した場合							
代替炉心注水 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	炉心出口温度	炉心出口温度	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	判断基準	加圧器水位	加圧器水位	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
			原子炉容器水位	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	判断基準	加圧器水位	加圧器水位	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
			燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	判断基準	加圧器水位	加圧器水位	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
			補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	判断基準	加圧器水位	加圧器水位	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
			原子炉容器水位	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
判断基準	加圧器水位	加圧器水位	2(2)	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		格納容器圧縮機サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	

全:すべてのループの計器の合計数  
AMB, C:当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	印直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	印直流電源を 延命した場合						
代替炉心注水 代替格納容器スプレッド ポンプによる代替炉心注水 判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 1	
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	—	—	1	1	0	1	ケース 1	
	総排熱器用水セット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	
	冷却線 1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	冷却線 1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	冷却線 1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	冷却線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	—
	後志幹線 1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線 1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	後志幹線 1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—	
	甲島線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	
	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	
	原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却器水流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却器水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却器水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却器水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	
	格納容器内高レベルジェ ネリ(高レベル)	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器内高レベルジェ ネリ(高レベル)	2(2)	2	1	1	1	ケース 1
	モニタリングポスト	7	7	0	0	—	—	—	モニタリングポスト	7	7	0	0	0	ケース 1

全:すべてのループの計器の合計数

AB,C:当該ループの計器数

\*1

常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を確保監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ分類理由				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器	評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ( )内はPAM	直後			SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
代替炉心注水 B-冷却ポンプ(自己冷却)による代替炉心注水 判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	1	1	1	0	ケース 1	
	総排換熱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	
	泊幹線 1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	泊幹線 1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—	—
	後志幹線 1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線 1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—	—
	甲島幹線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	4(2)	4	1	1	—	
	6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却器水流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却器水系の運転状態を 確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B/C):当該ループの計器数

\*1

常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合		
代替炉心注水 ダイゼル駆動ポンプによる代替炉心注水 判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	—	—	—	—	—	
		4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—	
	ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	
		1	1	0	0	—	—	—	—	—	
	B-格納容器スプレイド 量	1	1	0	1	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	0	0	—	—	—	—	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	(全)	3	(全)	3	(全)	0	0	—
		3(3)	3	(全)	3	(全)	3	(全)	3	(全)	—
	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
		1	1	1	0	—	—	—	—	—	—
1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	—	
	3(3)	3	(全)	3	(全)	3	(全)	0	0	—	
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	—	
	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	—	
加圧器水位	4(2)	4	4	1	1	—	—	—	—	—	
	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	
格納容器再循環ポンプ水 (広域)	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	—	
	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	
代替炉心注水 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 炉心注水	炉心出口温度	1	1	0	1*1	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		4(2)	4	1	1	1	1	0	0	—
	B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	0	2(2)	2	1	1	—
	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	4(2)	4	1	1	—
		1	1	0	1	1	1	1	1	—
	補助的パラメータ 分類理由	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
サブクール度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1次冷却材温度(広域-高 温側)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
格納容器再循環サンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合				
代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水 代替炉心注水	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	0	—
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	1	1	1	1	—
	代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
	B-1格納容器スプレィ流量	1	1	0	0	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量(GAM用)	1	1	0	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
	原子炉容器水位	1	1	0	0	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 溶融炉心の格納容器下部への落下遅延・防止の手順等(全交流動力電源及び原子炉補機冷却機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
代替炉心注水 原水槽を水源とした可搬型大型海水ポンプ車による代替炉心注水	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	—	—	—	—	—
		4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-高温度)	3(3)	3	(全)	3	(全)	0	0	—	—
		3(3)	3	(全)	3	(全)	0	3	(全)	—
	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—
		1	1	1	0	—	—	—	—	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—
		3(3)	3	(全)	3	(全)	0	0	—	—
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—
		2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—
補助給水ピット水位	4(2)	4	4	1	1	—	—	—	—	
	1	1	1	1	—	—	—	—	—	
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
	4(2)	4	4	1	1	—	—	—	—	
原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—	
	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	
	4(2)	4	4	1	1	—	—	—	—	
原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—	
	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	—	

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等 水素濃度低減のための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合
水素濃度低減	判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		格納容器内高レンジエリ アモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	操作	A、B-直流コントロール センサ母線電圧	2	2	1	1	③	直流母線の受電状態を監視するパラ メータ	格納容器内高レンジエ リアモニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		原子炉格納容器内水素 処理装置温度	5	5	0	5	③	原子炉格納容器内水素処理装置の作 動状態を確認するパラメータ	格納容器内高レンジエ リアモニタ(低レンジ)	8	8	0	0	ケース 1
									直流C/C線機操作器表 示運転状態)	—	—	—	—	—
									格納容器内水素イグナイタ 温度	13	13	0	13	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等 水素濃度低減のための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ( )内はFAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はFAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合				
水素濃度低減	判断基準 格納容器水素イグナイタ	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		炉幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	炉幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—		
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—		
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	4(2)	4	1	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	
		代替非常用蒸電機電圧, 電力, 周波数	6	6	0	0	代替非常用蒸電機の運転状態を確認するパラメータ	6	6	6	6	—	
		炉心出口温度	1	1	0	1 *1	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	4	4	0	0	ケース 1
		原子炉容器水位	4(2)	4	1	1	①	—	1	1	1	1	ケース 1
		サブグループ度	1	1	0	0	—	—	1	1	0	0	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3	3	3	③	—	3	3	3	3	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3	3	③	—	3	3	0	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3	3	3	③	—	3	3	0	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3	3	③	—	3	3	0	0	ケース 6

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

「 」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等 水素濃度低減のための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合						
水素濃度低減	判断 断 基 準  格納容器水素イグナイタ	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	ケース 3
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	0	2	ケース 6
		格納容器圧力(狭域)	2	2	0	2	—	—	—	—	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器再循環ポンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器内高圧レンジエリアモニタ(低圧)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 1
		モニタリングシステム及びモニタリングシステムーション	8	8	0	0	—	—	—	—	8	8	0	0	ケース 1
		格納容器圧力(狭域)	2	2	0	2	—	—	—	—	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器再循環ポンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 1
		格納容器内高圧レンジエリアモニタ(低圧)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 1

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等 水素濃度低減のための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A:直流電源を 延命した場合
水素濃度低減	格納容器水素イグナイタ 操作	A、B-直流コントロール センサ母線電圧	2	2	1	1	③	直流母線の受電状態を監視するパラ メータ	直流C/C組機操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—
		格納容器水素イグナイタ 温度	13	13	0	13	③	格納容器水素イグナイタの作動状態を 監視するパラメータ	原子炉格納容器内水蒸 気処理装置温度	5	5	0	5

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等 水素濃度低減のための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		B:直流電源を 延命した場合
水素濃度監視	判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	格納容器内高温レンジエリアモニタ(低レンジ)	3(3)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
		格納容器内高温レンジエリアモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	モニタリングホスト及びモニタリングステーション	8	3 (全)	0	ケース 1
水素濃度監視	操作	格納容器内水素濃度	1	0	0	1 * 2	①	—	原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	0	ケース 8
		格納容器内水素濃度	1	0	0	1 * 2	①	—	格納容器水素イグナイタ温度	13	13	0	ケース 8
水素濃度監視	判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
		格納容器内高温レンジエリアモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	モニタリングホスト及びモニタリングステーション	8	3 (全)	0	ケース 1
水素濃度監視	操作	格納容器内水素濃度	1	0	0	1 * 2	①	—	原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	0	ケース 8
		ガス分析計による水素濃度	—	—	—	—	③	原子炉格納容器内の水素濃度を手分所により確認するパラメータ	4(2)	4	1	1	ケース 9

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

\*2 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等 水素濃度低減のための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合					
水素濃度監視 監視ユニット 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット 電源及び原子炉補機冷却器補機が喪失した場合の操作手順	判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	—	3(3)	3 (全)	0	ケース 1	
		格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	3(3)	0 (全)	3 (全)	ケース 1
	操作	拍幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	拍幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	拍幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L故障遮断警報	—	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	4(2)	4	1	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作表示(運転状態)	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管水流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却母管水系の運転状態を確認するパラメータ	原子炉補機冷却母管水ポンプ操作表示(運転状態)	—	—	—	—	—
	操作	代替非常用蒸気機電圧, 電力, 周波数	6	6	0	6	③	代替非常用蒸気機の運転状態を確認するパラメータ	代替非常用蒸気機電圧, 電力, 周波数(周)	6	6	6	6	—
		A, B-直前コントロールセンタ母線電圧	2	2	1	1	③	直流母線の受電状態を監視するパラメータ	直流C/C補機操作表示(運転状態)	—	—	—	—	—
操作	格納容器内水素濃度	1	0	0	1 * 2	①	—	—	—	5	5	0	5	ケース 8
		13	13	0	0	13	0	13	0	13	13	0	13	ケース 8
操作	ガス分析計による水素濃度	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	ケース 9
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのルーブの計器の合計数

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

\*2 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

A(B,C):当該ルーブの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等 水素濃度低減のための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合				
水素濃度監視 ガス分析計 全交流動力 電源及び原子炉補機冷 却機能が喪失した場合 の操作手順 判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	—	3(3)	3 (全)	0	ケース 1	
		格納容器内高レンジエリ アモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 1
	拍幹線 1L, 2L 電圧	2	2	0	0	③	拍幹線 1L, 2L の受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—	—
	後志幹線 1L, 2L 電圧	2	2	0	0	③	後志幹線 1L, 2L の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	—	—	4(2)	4	1	—
	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	3(3)	3 (全)	0	ケース 1
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
	格納容器内高レンジエリ アモニタ(低レンジ)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	ケース 1
	モニタリングホスト及びモ ニタリングステーション	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8	0	ケース 1

全: すべてのループの計器の合計数  
A(B,C): 当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等 水素濃度低減のための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合
水素濃度監視	ガス分析計	A、B-直流コントロールセンタ母線電圧	2	2	1	③	直流母線の受電状態を監視するパラメータ	直流C/C補機操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	
水素濃度監視	判断基準	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	8	8	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	
		格納容器内水素濃度	1	0	0	①	—	—	原子炉格納容器内水素処理装置温度 格納容器水素イグナイタ温度	5 13	5 13	0 0	5 13
水素濃度監視	操作	代替非常用空電機電圧、周波数	6	6	0	③	代替非常用空電機の運転状態を確認するパラメータ	代替非常用空電機電圧、周波数(現場)	6	4	6	1	6
		ガス分析計による水素濃度	—	—	—	③	原子炉格納容器内の水素濃度を手分けにより確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—

\*1 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止する手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響		ハロメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			評価
				直後	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合	直後		
水素排出（アニュラス空気浄化設備） 交流動力電源及び高圧 電源が健全である場合の 操作手順	基判 遮断	ECCS作動	—	—	—	③	ECCS作動直後の動作状態を確認す るパラメータ	—	—	—	—	—	
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	ケース 1	
	操 作	格納容器内高圧レンジ アモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	①	—	格納容器内高圧レンジエリ アモニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	ケース 1	
		アニュラス内圧力	2	2	0	③	アニュラス空気浄化ファン 確認するパラメータ	モニタリングポスト	7	7	0	ケース 1	

全:すべてのグループの計器の合計数

A(B,C):当該グループの計器数

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止する手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合				
水素排出（アニュラス突気浄化設備） 全交流動力電源又は直 流電源が喪失した場合の 操作手順	判断基準	油幹線1L, 2L電圧	2	2	0	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	3	—	—	—			
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	後立幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	3	—	—	—			
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	3	4(2)	4	1	1		
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	3	—	—	—	—		
		A, B—直流コントロー ルセクタ母線電圧	2	2	1	直流母線の受電状態を監視するパラ メータ	3	—	—	—	—		
		炉心出口温度	1	1	0	—	2	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
		格納容器内高レベル アラーム(高レベル)	2(2)	2	1	—	1	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		アニュラス内圧力	2	2	0	—	1	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		代替非常用発電機電圧, 電力, 周波数	6	6	0	—	3	7	7	0	0	ケース 1	

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同く39点を監視監視可能

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止する手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合						
水素濃度監視	判断基準	炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 1
		格納容器内高レンジエリ アモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3 (全)	0	3 (全)	1	ケース 1
水素濃度監視	操作	アニュラス水素濃度(可搬型)	1	0	0	1*2	①	—	—	格納容器内高レンジエリ アモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	—	モニタリングホスト	7	7	0	0	ケース 1
水素濃度監視	判断基準	格納容器内高レンジエリ アモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	—	アニュラス水素濃度	1	1	0	1	ケース 1
		アニュラス水素濃度	1	1	0	1	②	—	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 1
水素濃度監視	操作	格納容器内高レンジエリ アモニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		アニュラス水素濃度	1	1	0	1	②	—	—	モニタリングホスト	7	7	0	0	ケース 1

全:すべてのグループの計器の合計数

A(B,C):当該グループの計器数

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

\*2 可搬型アニュラス水素濃度計測装置の取付け及び運転開始後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価															
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数			計器数												
			計器数 ( ) 内はPAM	直後	SDI影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	SDI影響 A直流電源を 延命した場合	計器数	直後	SDI影響 B直流電源を 延命した場合	計器数	直後	SDI影響 A直流電源を 延命した場合	計器数	直後	SDI影響 B直流電源を 延命した場合				
1.11.2.1	使用済燃料ピットの冷却機能又は注水機能の喪失時、又は使用済燃料ピット水の小規模な漏えい発生時の対応手順																							
(D)	使用済燃料ピットへの注水																							
a. 燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	判 断 基 準	機 能 監 視 機 能	原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管水流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	
			使用済燃料ピットの温度	2	2	2	0	—	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ *2	2	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	
			使用済燃料ピットの水位	2	2	2	0	—	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット水位 使用済燃料ピット監視カメラ *2	2	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	
			水源の確保	2	2	1	1	—	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2	2	0	2	0	2	0	

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C) : 当該ループの計器数  
\*1: 計器取り付け後監視可能  
\*2: 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補形パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( ) 内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
a. 燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ビットへの注水	使用済燃料ビットの温度	使用済燃料ビットの温度	2	—	—	使用済燃料ビット温度 (AM)	2	2	0	0	2	0	使用済燃料ビット温度 (AM) により使用済燃料ビット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			2	—	—	使用済燃料ビット温度 (AM)	2	2	0	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ビット温度により使用済燃料ビット温度 (AM) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット水位 (AM) 及び使用済燃料ビット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット水位 (AM) 及び使用済燃料ビット水位 (可搬型) により使用済燃料ビット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット水位 (AM) 及び使用済燃料ビット水位 (可搬型) により使用済燃料ビット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット水位 (AM) 及び使用済燃料ビット水位 (可搬型) により使用済燃料ビット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
水源の確保	燃料取替用水ビット水位	燃料取替用水ビット水位	2	—	—	燃料取替用水ビット水位 (AM)	2	2	1	1	2	0	燃料取替用水ビット水位 (AM) による傾向監視により水位の有無や使用量を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	—	—	燃料取替用水ビット水位 (AM)	2	2	1	1	2	0	燃料取替用水ビット水位 (AM) による傾向監視により水位の有無や使用量を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	—	—	燃料取替用水ビット水位 (AM)	2	2	1	1	2	0	燃料取替用水ビット水位 (AM) による傾向監視により水位の有無や使用量を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	

注：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\* 1 : 計器取り付け後監視可能

\* 2 : 使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( ) 内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後		B直流電源を 延命した場合				
b. 2次冷却水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	機械監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピット温度	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ * 2	2	2	2	0	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	使用済燃料ピットの水位	使用済燃料ピット水位	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	2 * 1	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 使用済燃料ピット水位 使用済燃料ピット監視カメラ * 2	2	2	2	0	2 * 1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	水源の確保	2次冷却水タンク水位	2	「1, 2号中央制御室に確認」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

\* 1：計器取り付け後監視可能

\* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数



第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価	SRD							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( ) 内はPAM	直後			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
b. 2次系給水ポンプによる使用済燃料ビットへの注水	操作	使用済燃料ビットの温度	使用済燃料ビット温度	—	—	—	使用済燃料ビット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ビット温度 (AM用) により使用済燃料ビット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ビット温度 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ビット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ビット温度により使用済燃料ビット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット水位	—	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット水位 (AM用) 及び使用済燃料ビット監視カメラによる傾向推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット水位 (AM用) 及び使用済燃料ビット水位 (可搬型) により使用済燃料ビット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット水位	—	—	—	使用済燃料ビット水位	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	—	—	—	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ビットエアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット監視カメラ	—	—	—	使用済燃料ビット監視カメラ	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2次系給水タンク水位	2	「1, 2号中央制御室に確認」	—	—	—	2	2	0	2	0	2	0	—	—
			水源の確保	2	「1, 2号中央制御室に確認」	—	—	—	2	2	0	2	0	2	0	—	—

注: すべてのループの計器の合計数

\* 1: 計器取り付け後監視可能

A (B, C) : 当該ループの計器数

\* 2: 使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む



第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器			評価		
			計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SR0	
c. 1 冷却給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM)	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM) の代替監視可能。		
			使用済燃料ピット監視カメラ *1	1	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。		
			携帯型水温計	1	—	—	—	携帯型水温計	2	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。		

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\*1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名		計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
c. 1号蒸発器水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットの水位	使用済燃料ピットの水位	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	
			2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	
			2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	
			2	2	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにて 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	1	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにて 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	
			2	2	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	
			2	0	2 * 1	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ による放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃料 ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。	
			2	1	1	—	—	携帯型水位計	1	1	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 携帯型水位計の代替監視可能。	
1	1	1	—	—	使用済燃料ピット監視用携帯 型ロープ式水位計	1	1	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット監視用携帯用ロープ 式水位計の代替監視可能。				

全：すべてのループの計器の合計数

\* 1：計器取り付け後監視可能

\* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数

# 第1表 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ									
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補形パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器設備等	SRD
c. 1次系統給水ポンプによる 使用済燃料ビットへの注水	水源の確保	使用済燃料ビット周辺の放射線 量率	1	—	—	使用済燃料ビット水位 (AM 用)	2	2	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM用) により 1次系統給水タンク水位の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			1	—	—	使用済燃料ビットエアモニタ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ により使用済燃料ビットエアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			2	0 * 2	—	排気筒ガスモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ により使用済燃料ビットエアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			1	0	—	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	2	2	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ により使用済燃料ビット 放射線量率と水位の関係や使用済燃料ビット 排出カメラによる傾斜監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
使用済燃料ビット の状態監視	使用済燃料ビット	使用済燃料ビット監視カメラ * 3	1	0	—	使用済燃料ビット監視カメラ * 3	1	0	1	0	使用済燃料ビット水位 (AM 用)	使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用 済燃料ビット温度 (AM用)、使用済 燃料ビット可搬型エアモニタにより使 用済燃料ビットの状態を推定可能。
			2	2	—	使用済燃料ビット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用 済燃料ビット温度 (AM用)、使用済 燃料ビット可搬型エアモニタにより使 用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			1	0	—	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ により使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

\* 1：計器取り付け後監視可能

\* 2：飲料採取に必要なサンプリング電圧が喪失するため監視不可

\* 3：使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( ) 内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
d. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	機械監視機能		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	0	2				—	—	—				
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	8	0	4				—	—	—				
	使用済燃料ピットの温度		使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0		0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	2	2	2	0	2	使用済燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済燃料ピット温度 (AM用) により傾向監視可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより傾向監視可能。	
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により代替パラメータにて確認。	
	使用済燃料ピットの水位		使用済燃料ピット水位	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位との関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。
水源の確保		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	0	ろ過水タンク水位	2	2	2	0	0	0	—	

全：すべてのループの計器の合計数

\* 1：計器取り付け後監視可能

\* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価		
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
d. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの温度	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			1	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			1	1	1	携帯型水温計	1	1	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\*1: 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む





第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補形パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後		B直流電源を 延命した場合						
d. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ビットへの注水	水際の確保	使用済燃料ビット周辺の放射線量率	ろ過水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ビットエアモニタ	1	0	0	—	—	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			排気筒ガスモニタ	2	0	0	—	—	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	1	0	0	—	—	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	1	1	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
操作	使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ビット水位 (AM)	2	2	2	2	2	2	使用済燃料ビット水位 (AM) による燃料重量率と水位の関係や使用済燃料ビット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ビットの状態を推定可能。
			使用済燃料ビット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	2	2	2	2	2	使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使用済燃料ビット温度 (AM用) 及び使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットの状態を推定可能。
			使用済燃料ビット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ビット水位 (AM)	2	2	2	2	2	2	使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使用済燃料ビット温度 (AM用) 及び使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットの状態を推定可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\*1 : 計器取り付け後監視可能

\*2 : 燃料採取に必要なサンプン電圧が喪失するため監視不可

\*3 : 使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む

# 第1表 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価					
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( ) 内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
e. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型汲水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	機械監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	
判 断 基 準	使用済燃料ピットの水位	使用済燃料ピット温度	2	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	2	0	2	0		使用済燃料ピット温度 (AM) により代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット温度 (AM)	2	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により代替パラメータにて確認。	
		使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向判定可能。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向判定可能。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向判定可能。
		使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) により代替パラメータにて確認。
e. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型汲水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットの水位	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位との関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM) の代替監視可能。	
		使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM) の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C)：当該ループの計器数

\*1：計器取り付け後監視可能

\*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価			
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等	SBO		
			計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	SBO影響 A 直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称			計器数 ( ) 内はPAM	A 直流電源を 延命した場合 直後
e. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM) の代替監視可能。
			携帯型水漏計	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM) *1	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。
												監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\*1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( ) 内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
			計器名称	補形パラメータ 分類理由	パラメータ 分類		計器名称						計器名称等	SR0			
			使用済燃料ピット水位	—	—	2	2	0	0	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	2	2	0	0	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	2	2	0	0	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	操作	使用済燃料ピットの水位	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	2	2	0	0	2	2	2	2	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	2	2	0	0	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			携帯型水位計	—	—	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計	—	—	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

\*1：計器取り付け後監視可能

\*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数 ( )内はPAM	計器名称	SBO影響		計器故障等	SBO		
			パラメータ 分類	補形パラメータ 分類理由	計器数 ( )内はPAM	計器名称	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	
e. 代替給水ピットを水廻りとした可搬型大形送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピット周囲の放射線量率	使用済燃料ピット周囲の放射線量率	使用済燃料ピットエアモニタ	—	—	1	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			排気筒ガスモニタ	—	—	2	0 * 2	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	0	0	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ * 3	—	—	1	0	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
	使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	2	2	2	0	2	* 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	2	2	2	0	2	* 1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	2	2	2	0	2	* 1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C)：当該ループの計器数

\* 1：計器取り付け後監視可能  
\* 2：飲料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

\* 3：使用済燃料ピット監視カメラ空荷設置を含む



# 第1表 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価	
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器名等	SBO
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後		
f. 原水層を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピットの温度	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により代替パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	2	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM) の代替監視可能。
			2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。
			1	1	1	携帯型水温計	1	1	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\*1: 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数			計器数				
			計器名称	パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数( )内はPAM	直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合	直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合	計器名称等	SR0	
			使用済燃料ピット水位	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	2	2	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	2	2	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	2	2	0	2	2	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	2	2	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			携帯型水位計	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	1	1	1	1	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	1	1	1	1	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

\*1：計器取り付け後監視可能

\*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数



第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ							評価						
			抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数 ( ) 内はFAM	計器故障等	SBO				
			計器名称	パラメータ 分類	補形パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
f. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ビットへの注水	使用済燃料ビット周囲の放射線量率	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	—	—	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットエアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			排気筒ガスモニタ	—	—	2	0	*2	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットエアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	—	—	1	0	0	0	0	0	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ビットエアモニタにより使用済燃料ビット可搬型エアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビット監視カメラ	使用済燃料ビット水位 (AM)	—	—	1	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ビット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット水位 (可搬型)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM用)、使用済燃料ビット水位 (可搬型)、使用済燃料ビット温度 (AM) 及び使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット温度 (AM)	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット温度 (AM) による使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	水源の確保	2次送水タンク水位 ろ過水タンク水位	2次送水タンク水位	2次送水タンク水位	「1, 2号中央制御室に確認」	—	2	0	0	0	0	0	0	—	—	
				ろ過水タンク水位	—	—	2	0	0	0	0	0	0	—	—	
				2次送水タンク水位	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	—	—
				ろ過水タンク水位	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

\*1：計器取り付け後監視可能

\*2：飲料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

A (B, C)：当該ループの計器数

\*3：使用済燃料ビット監視カメラ空射装置を含む

# 第1表 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価				
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
g. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による使用済 燃料ピットへの注水	機械監視機能 使用済燃料ピット の水位	原子炉補機冷却水送給母管流量	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	8	0	4	③	原子炉補機冷却海水系 の運転状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		使用済燃料ピット温度	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。
		使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。
		使用済燃料ピット水位	2	0	0	②	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。
		使用済燃料ピット水位	2	0	0	②	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
		使用済燃料ピット水位	2	0	0	②	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
		使用済燃料ピット水位	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	2	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
		使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ 使用済燃料ピットエリアモニ タ	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
		使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより 使用済燃料ピットの状況を監視可 能。

全：すべてのループの計器の合計数  
 A (B, C) : 当該ループの計器数  
 \* 1 : 計器取り付け後監視可能  
 \* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器			評価		
			計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SR0	
8. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による使用済燃 料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピット の温度	使用済燃料ピット温度	2	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 代替パラメータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	①	—	使用済燃料ピット温度 使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。 使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。		
			携帯型水漏計	1	②	—	使用済燃料ピット監視カメラ *1	1	0	1	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 代替パラメータにて 確認。		

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\*1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価				
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( ) 内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
8. 海水を用いた可搬型大型 海水ポンプ等による使用済 燃料ピットへの注水	使用済燃料ピット水位	②	2	0	0	0	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	使用済燃料ピット水位 (AM用)	①	2	2	0	0	0	0	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ピット水位の関係を、使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①	2	0	2 * 1	0	0	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	携帯型水位計	②	1	1	1	1	0	0	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計	②	1	1	1	1	0	0	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのルーブの計器の合計数  
\* 1：計器取り付け後監視可能  
\* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷基盤を含む  
A (B, C)：当該ルーブの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数 ( )内はPAM	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響				
			パラメータ 分類	補形パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
g. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による使用済燃 料ビットへの注水	使用済燃料ビット 周囲の放射線 量率	使用済燃料ビット 可搬型エリアモニタ	②	—	1	0	0	0	0	1	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ により使用済燃料ビットエリアモニタにて の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			②	—	2	0	0	0	0	1	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ により使用済燃料ビットエリアモニタにて の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			①	—	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ビット エリアモニタにより使用済燃料ビット 可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	使用済燃料ビット の状態監視	使用済燃料ビット監視カメラ *3	①	—	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			①	—	1	0	0	0	0	2	2	0	2	*1	0	0

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C)：当該ループの計器数

\*1：計器取り付け後監視可能

\*2：飲料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

\*3：使用済燃料ビット監視カメラ空射装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器数 ( )内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	SBO影響		計器数 ( )内はPAM		計器名称	評価	SBO			
							A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	直後						
a. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車及び可搬型スプ レイノズルによる使用済燃料 ピットへのスプレイ	1.11.2.2 使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の対応手順  (1) 使用済燃料ピットへのスプレイ	使用済燃料ピットの 温度	使用済燃料ピット温度	②	0	0	2	2	2	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)				2	2	0	2	2	0	2	2	使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位	②	0	0	2	2	0	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)				2	2	0	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)				2	2	0	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)				2	2	0	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	①	0	2	2	2	0	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM) の代替監視可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)				2	2	0	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタに 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)				2	2	0	2	2	0	2	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (AM 用) の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	①	0	2	2	2	0	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタに 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C) : 当該ループの計器数  
\*1: 計器取り付け後監視可能  
\*2: 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器数 ( )内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( )内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
a. 海水を用いた可搬型大型 海水ポンプ駆動及び可搬型スフ レイノズルによる使用済燃料 ピットへのスプレイ	使用済燃料ピ ットの温度  使用済燃料ピ ット水位  使用済燃料ピ ット水位	使用済燃料ピ ットの温度  使用済燃料ピ ット水位  使用済燃料ピ ット水位	2	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。  監視事項は 主要パラ メータにて 確認。  監視事項は 主要パラ メータにて 確認。  監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
			2	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	2	0	0		0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	
			2	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	0	2 * 1	0	0		0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 推定可能。	
			2	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	0	2 * 1	0	0		0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	
			2	①	—	使用済燃料ピット水位	2	2	2	0	0	0	0		0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ アモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	
			2	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	0	2 * 1	0	0		0	0	評価範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (AM 用) の代替監視可能。
			2	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	0	2 * 1	0	0		0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ アモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタ による放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			2	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	0	2 * 1	0	0		0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ アモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタ による放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			2	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	0	2 * 1	0	0		0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ アモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタ による放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			2	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	2	0	2 * 1	0	0		0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ アモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタ による放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。

全：すべてのループの計器の合計数  
 A (B, C) : 当該ループの計器数  
 \* 1 : 計器取り付け後監視可能  
 \* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価												
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数			計器数									
			パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数( )内はPAM	直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合	直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合	計器名称	計器数( )内はPAM	直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合				
a. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ集及び可搬型スプレインスルによる使用済燃料ビットへのスプレイ	操作	使用済燃料ビット周辺の放射線量率	使用済燃料ビットエアモニタ	②	—	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットエアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			排気筒ガスモニタ	②	—	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	2	0	*2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットエアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	①	—	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットエアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ビット水位 (AM)			使用済燃料ビット水位 (AM)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	使用済燃料ビット水位 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ビット監視カメラ			使用済燃料ビット監視カメラ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビット水位 (AM)			使用済燃料ビット水位 (AM)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	使用済燃料ビット水位 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ビット水位 (可搬型)			使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	0	2	*1	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (可搬型) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット温度 (AM)			使用済燃料ビット温度 (AM)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	使用済燃料ビット温度 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ビット監視カメラにより使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ビット可搬型エアモニタ			使用済燃料ビット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタにより使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C)：当該ループの計器数

\*1：計器取り付け後監視可能

\*2：飲料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

\*3：使用済燃料ビット監視カメラ空荷設置を含む



第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価				
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 ( )内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( )内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
b. 代替給水ピットを水取りした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピットの温度	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	2	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2 * 1	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアリモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアリモニタ及び使用済燃料ピットエアリモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアリモニタ	1	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアリモニタ及び使用済燃料ピットエアリモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	2	0	評価範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット水位 (AM) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
2	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。			

全：すべてのループの計器の合計数  
 \* 1：計器取り付け後監視可能  
 \* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷設置を含む  
 A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価	SRD								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器												
			計器数 ( )内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( )内はPAM	直後			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
b. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 及び可搬型スプレインズルに よる使用済燃料ピットへのス プレイ	使用済燃料ピット の温度	使用済燃料ピット の温度	使用済燃料ピット温度	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	0	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	0	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	—	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	2	2	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ *1及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	2	0	2	0	0	評価範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ *1及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ *1及び使用済燃料ピット監視カメラに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C) : 当該ループの計器数

\*1: 計器取り付け後監視可能  
\*2: 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器			計器故障等			SBO	
			計器数 ( )内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等		
b. 代替給水ピットを水側と した可搬型大型送水ポンプ車 及び可搬型スプレインゾルに よる使用済燃料ピットへのス プレイ	使用済燃料ピット 周囲の放射線 量率	使用済燃料ピット 周囲の放射線 量率	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ により使用済燃料ピットエリアモニタにて の代替監視可能。		監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0	*2	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ により使用済燃料ピットエリアモニタにて の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ により使用済燃料ピットエリアモニタにて の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	
	使用済燃料ピット の状態監視	使用済燃料ピット の状態監視	使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使 用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) による 使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済 燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済燃 料ピット可搬型エリアモニタにより使 用済燃料ピットの状態を推定可能。
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		0
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ により使用済燃料ピットエリアモニタにて の代替監視可能。		

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C)：当該ループの計器数

\*1：計器取り付け後監視可能

\*2：燃料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

\*3：使用済燃料ピット監視カメラ空射装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価	SRD							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器数 ( )内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( )内はPAM	直後			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
c. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型サブプレッスルによる使用済燃料ピットへのスプレー	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピット温度	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 *1	0	0	2 *1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	2	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアリニアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアリニアモニタ及び使用済燃料ピットエアリニアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピットエアリニアモニタ	1	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	2	0	0	評価範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット水位	2	0	2 *1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアリニアモニタ及び使用済燃料ピットエアリニアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。			

全：すべてのループの計器の合計数  
 \*1：計器取り付け後監視可能  
 \*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷設置を含む  
 A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価	SRD							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器数 ( )内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( )内はPAM	直後			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
c. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型サブプレッスルによる使用済燃料ピットへのスプレー	操作	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピット温度	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 *1	0	0	2 *1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位	—	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	2	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアリニアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアリニアモニタ及び使用済燃料ピットエアリニアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピットエアリニアモニタ	1	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	2	0	0	評価範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアリニアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアリニアモニタ及び使用済燃料ピットエアリニアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。			

全：すべてのループの計器の合計数  
 \*1：計器取り付け後監視可能  
 \*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷設置を含む  
 A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数 ( )内はFAM	計器名称	SBO影響		計器故障等	SBO			
			計器名称	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合		
c. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	使用済燃料ピット周囲の放射線量率	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	—	—	1	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			排気筒ガスモニタ	—	—	2	0	*2	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	—	—	1	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットエリアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピット監視カメラ	*3	使用済燃料ピット水位 (AM)	—	—	2	2	2	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) により使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
				使用済燃料ピット水位 (AM)	—	—	2	2	2	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM) により使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
				使用済燃料ピット温度 (AM)	—	—	2	2	2	0	2	*1	0	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により使用済燃料ピット温度 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
	水源の確保	2次冷却水タンク水位	2	2次冷却水タンク水位	「1, 2号中央制御室に確認」	—	2	0	0	0	0	0	0	0	—	—	
				ろ過水タンク水位	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0	—	—	
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

\*1：計器取り付け後監視可能

\*2：飲料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

A (B, C)：当該ループの計器数

\*3：使用済燃料ピット監視カメラ空射装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価	SRD					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
d. 可燃物大量漏洩時海水ポンプ車及び取水ポンプ車による燃料取扱機(使用済燃料ピット内の燃料体等)への放火	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM) 用の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2 * 1	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2 * 1	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2 * 1	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C) : 当該ループの計器数

\* 1 : 計器取り付け後監視可能  
\* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ							評価				
			抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名	計器数 ( )内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
d. 可搬型大容量海水ポンプ車及び放水砲による燃料取扱機(使用済燃料ビット内の燃料体等)への放水	使用済燃料ビット周辺放射線量率	使用済燃料ビット周辺放射線量率	使用済燃料ビットエリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			排気ガスモニタ	2	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	1	1	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタの代替監視可能。	
			使用済燃料ビット水位 (AM用)	2	2	2	2	使用済燃料ビット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビット監視カメラ	1	0	1	0	使用済燃料ビット監視カメラ	1	0	1	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット水位 (AM用)	2	2	2	2	使用済燃料ビット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ビット温度 (可搬型)	2	0	2	*1	使用済燃料ビット温度 (可搬型)	2	0	2	*1	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
周辺環境の放射線量率	周辺環境の放射線量率	周辺環境の放射線量率	モニタリングポスト	7	7	0	0	型外の放射線量を測定するパラメータ	—	—	—	—	—	—
			モニタリングステーション	1	1	0	0	型外の放射線量を測定するパラメータ	—	—	—	—	—	—
操作	1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑止するための手順等」のうち1.12.2.2(1) d. 「可搬型大容量海水ポンプ車及び放水砲による大気への拡散抑制」にて整備する。	1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑止するための手順等」のうち1.12.2.2(1) d. 「可搬型大容量海水ポンプ車及び放水砲による大気への拡散抑制」にて整備する。	全：すべてのループの計器の合計数 A (B, C) : 当該ループの計器数							*1: 計器取り付け後監視可能 *2: 燃料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可 *3: 使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む				



第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器数 ( ) 内はPAM	直後	SBO影響		計器数 ( ) 内はPAM	直後	SBO影響		計器故障等	SBO			
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
			計器名称	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	パラメータ 分類	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
1.11.2.2 使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の対応手順	(2) 漏えい緩和	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピット温度 (AM)	—	—	2	2	0	0	—	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM)	—	—	2	2	2	0	0	—	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。
a. 使用済燃料ピット漏えい 緩和	判断 基準	使用済燃料ピットの水位	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	2	2	0	0	—	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	2	2	2	0	0	—	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	—	—	2	2	2	0	—	2	2	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ による放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	—	—	2	2	0	0	—	2	2	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (AM) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	—	—	2	0	2	*1	—	2	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタに 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ	—	—	2	0	2	*1	—	2	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ	—	—	2	0	2	*1	—	2	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C) : 当該ループの計器数  
\*1 : 計器取り付け後監視可能  
\*2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

# 第1表 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ													
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器数 ( )内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	計器名称	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SRD
a. 使用済燃料ビット漏えい 検知	使用済燃料ビット貯蔵槽 周囲の放射線 量率	使用済燃料ビット 貯蔵槽周囲の放射線 量率	1	使用済燃料ビットエアモニ タ	—	—	—	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ により使用済燃料ビットエアモニタにて の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			2	0 * 2	排気筒ガスモニタ	—	—	—	1	0	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ により使用済燃料ビットエアモニタにて の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ビット エアモニタにより使用済燃料ビット 可搬型エアモニタの代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
b. 使用済燃料ビット貯蔵槽 の冷却	使用済燃料ビット 貯蔵槽の冷却	使用済燃料ビット貯蔵槽 の冷却	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\* 1 : 計器取り付け後監視可能

\* 2 : 飲料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

\* 3 : 使用済燃料ビット監視カメラ空荷設置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器			計器故障等			SBO	
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等		
a. 使用済燃料ビット漏えい 緩和	使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	使用済燃料ビット の水位	使用済燃料ビット水位	—	—	—	使用済燃料ビット水位 (AM 用)	2	2	0	2	0	2	0	使用済燃料ビット水位 (AM用) 及び使用済燃料ビット水位 (可搬型) により使用済燃料ビット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ビット水位 (AM 用)	—	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬 型)	2	2	0	2 * 1	0	2 * 1	0	使用済燃料ビット水位 (AM用) 及び使用済燃料ビット水位により使用済燃料ビット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ビット水位 (AM 用)	—	—	—	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	2	2	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ビットエリ アモニタによる放射線量率と水位の 関係や使用済燃料ビット監視カメラにより 使用済燃料ビット水位 (AM用) の代 替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ビット水位 (可搬 型)	—	—	—	使用済燃料ビットエリ アモニタ	2	2	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット監視カメラにより 使用済燃料ビット水位 (可搬型) の代 替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

注：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C) : 当該ループの計器数  
\* 1 : 計器取り付け後監視可能  
\* 2 : 使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器数 ( ) 内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補形パラメータ 分類理由	計器数 ( ) 内はPAM	計器名称	SBO影響		計器故障等	SBO				
									直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合		
1.11.2.3 重大事故等時における使用済燃料ビットの監視のための対応手順 (1) 使用済燃料ビットの状態監視	a. 冷却設備による使用済燃料ビットの状態監視	使用済燃料ビットの温度	使用済燃料ビット温度 (AM)	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ビット温度 (AM) により使用済燃料ビット温度の代替監視可能。	2	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ビット温度 (AM)	2	2	2	0	—	—	使用済燃料ビット温度 (AM) により使用済燃料ビット温度 (AM) の代替監視可能。	2	2	0	2	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		使用済燃料ビットの水位	使用済燃料ビット水位 (AM)	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ビット水位 (AM) 及び監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ビットの状態を推定可能。	2	2	2	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット監視カメラ * 2	1	0	1	0	—	—	監視により使用済燃料ビットの状態を推定可能。	1	0	1	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		使用済燃料ビットの水位	使用済燃料ビット水位 (AM)	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ビット水位 (AM) 及び監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ビットの状態を推定可能。	2	2	2	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	0	2	* 1	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型) により使用済燃料ビット水位 (AM) の代替監視可能。	2	0	2	* 1	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
		使用済燃料ビットの水位	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	2	0	2	* 1	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型) により使用済燃料ビット水位 (AM) の代替監視可能。	2	0	2	* 1	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ビット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ビット水位 (可搬型) により使用済燃料ビット水位 (AM) の代替監視可能。	2	2	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		使用済燃料ビットの水位	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ビット水位 (AM) の代替監視可能。	2	2	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ビット監視カメラ * 2	1	0	1	0	—	—	監視カメラにより使用済燃料ビット水位 (AM) の代替監視可能。	1	0	1	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

\* 1：計器取り付け後監視可能

\* 2：使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数

# 第1表 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等		SBO			
			計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A 直流電源を 延命した場合		B 直流電源を 延命した場合		
a. 冷却形態による使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピット周辺の放射線量等	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにての代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			排気筒ガスモニタ	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0		使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにての代替監視可能。
		使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピット監視カメラ *3	使用済燃料ピット監視カメラ	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	監視事項は、使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット温度 (AM 用) 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピットの状態を特定可能。
				使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	

全：すべてのループの計器の合計数  
A (B, C) : 当該ループの計器数

\* 1 : 計器取り付け後監視可能  
\* 2 : 試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

\* 3 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ( ) 内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ( ) 内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
b. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	機械監視機能		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	8	0	4	—	—	—	—	—	—	—		—	
	判断基準	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	2	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	*1	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	2	0	2	*1	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
	使用済燃料ピットの水位	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	2	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	2	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数  
 \*1：計器取り付け後監視可能  
 \*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む  
 A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類		補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
b. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピットの温度	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM) の代替監視可能。
			使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	1	0	1	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
			携帯型水温計	1	1	1	—	—	—	—	—	—	0	使用済燃料ピット温度 (AM) により代替パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\*1: 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価													
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数			計器数										
			計器名称	パラメータ分類	補助パラメータ分類理由	計器名称	計器数( )内はPAM	直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合	直後	A直流電源を延命した場合	B直流電源を延命した場合	計器数	計器数	計器数						
b. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピットの水位	使用済燃料ピットの水位	使用済燃料ピット水位	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	2	2	2	0	0	2	2	0	0	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタに及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	2	2	0	0	0	2	2	0	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計	携帯型水位計	携帯型水位計	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	2	0	2	*1	0	0	0	0	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタに及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			携帯型水位計	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	1	1	1	1	1	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	1	1	1	1	1	1	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	1	1	1	1	1	1	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット監視用携帯型ロープ式水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

\*1：計器取り付け後監視可能

\*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数

直後



第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類		補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( ) 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
ト、可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピット周辺の放射線量率	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	使用済燃料ピットエアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エアモニタの代替監視可能。	監視事項は 主要バグ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	0	0	2	2	2	2	
ト、可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	2	2	2	0	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM) による使用済燃料ピット水位 (AM) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は 主要バグ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	2	2	2	0	2	2	2	2	0	
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

\*1 : 計器取り付け後監視可能

\*2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直後直観を 延命した場合	バロメータ 分類		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直後直観を 延命した場合	B直後直観を 延命した場合					
大気への 拡散抑制	基判 判断	炉心出口風度	1	1	0	1 * 1	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		格納容器内高レンジエア モニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器スプレィ流量	2	2	0	—	—	—	—	2(2)	2	0	1	—	
		B-格納容器スプレィ冷却 器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		代替格納容器スプレィポ ンプ出口積算流量	1	1	0	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	—	—	—	—	1	1	0	0	—	
		操作	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	2	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		格納容器圧力(後滅)	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	0	—	
		格納容器内温度	2(2)	2	0	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
工場等外への 放射性物質の 拡散抑制	—	モニタリングポスト	7	7	0	0	—	—	7	—	—	—	—	—	
		モニタリングステーション	1	1	0	0	—	—	1	—	—	—	—	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		
放射線 拡散抑 制	放射線計測装置による 海洋への拡散抑制	基 断	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	基断	操 作	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	荷揚場シフトファンズによ る海洋への拡散抑制	基断	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	開口部シフトファンズによ る海洋への拡散抑制	基断	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全:すべてのループの計器の合計数  
AMB/O:当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
大気への拡散抑制 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車及び可搬型 スプレーノズルによる大気 への拡散抑制	使用済燃料ピット温度	2	2	0	②	—	2	2	0	2	—
	使用済燃料ピット温度(A M用)	2	2	0	①	—	2	2	0	2	—
	使用済燃料ピット水位	2	2	0	②	—	2	2	0	2	—
	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	①	—	2	2	0	2 * 1	—
	使用済燃料ピット水位(可 搬型)	2	2	0	②	—	2	2	0	2 * 1	—
	使用済燃料ピット水位	2	2	0	①	—	2	2	0	0	—
	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	①	—	2	2	0	1 * 1	—
	使用済燃料ピット水位(可 搬型)	2	2	0	②	—	2	2	0	0	—
	使用済燃料ピット水位	2	2	0	①	—	2	2	0	0	—
	使用済燃料ピット水位(可 搬型)	2	2	0	②	—	2	2	0	2	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A/B/C:当該ループの計器数  
\*1 計器取り付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 貯蔵槽内燃焼体等の著しい損傷時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
大気への 拡散抑制	判断基準 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車及び可搬型 スプレインゾルによる大気 への拡散抑制	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	0	0	1*1	—
		使用済燃料ピット可搬型 エアモニタ	1	0	0	1*1	—	—	0	—
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	1	—	—	0	—
		モニタリングポスト	7	7	0	0	—	—	0	—
操作	[1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等]のうち、1.11.2.3(1)海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる使用済燃料ピットへのスプレインにて整備する。	モニタリングステーション	1	1	0	0	—	—	—	—
		使用済燃料ピット可搬型 エアモニタ	1	0	0	0	—	—	0	1*1

\*1 計器取り付け後監視可能

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 貯蔵槽内燃燃料体等の著しい損傷時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	計器名称			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替給水ピットを水源とし た可搬式大型送水ポンプ 車及び可搬式エアライン ズルによる大気への拡散 抑制  大気への拡散抑制		2	2	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (A用)	2	2	0	2	—
		2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度 (A用)	2	2	0	2	—
		2	2	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (A用)	2	2	0	2	—
		2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2 * 1	—
		2	2	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2 * 1	—
		2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (A用)	2	2	0	0	—
		2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	0	0	1 * 1	—
		2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (A用)	1	1	0	0	—
		2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	0	1	1	—
		2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2	—
		2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	—
		2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	1	0	0	1 * 1	—
		1	1	0	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	1	0	1	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A/B/C:当該グループの計器数  
\*1 計器取り付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対応処に係る監視事項

## 1.1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替給水ピットを水櫃とし た可搬型大型送水ポンプ 車及び可搬型スプレイン ズルによる大気への拡散 抑制	<b>判断基準</b>  大気への拡散抑制	使用済燃料ピットエリアモ ニタ	1	0	0	0	0	0	1*1	—
		使用済燃料ピット可搬型 エリアモニタ	1	0	0	1*1	0	0	0	—
		使用済燃料ピット監視カメ ラ	1	0	1	1	0	1	1	—
		使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	0	2	0	2	—
モニタリングポスト	操作	モニタリングポスト	7	7	0	0	0	0	—	—
		モニタリングステーション	1	1	0	0	0	0	0	—
[1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等]のうち、1.11.2.2(2)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ」にて整備する。										

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 計器取り付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	直流			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及びび可搬型スプレイングスルによる大気への拡散抑制 大気への拡散抑制	使用済燃料ピット温度(A M用)	2	2	0	0	②	—	2	2	0	0	2	—
	使用済燃料ピット温度(A M用)	2	2	0	2	①	—	2	2	0	0	2	—
	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	2	2	0	0	2	—
	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	2	①	—	2	2	0	0	2 * 1	—
	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	0	②	—	2	2	0	0	2 * 1	—
	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	2	①	—	2	2	0	0	1 * 1	—
	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	0	②	—	2	2	0	0	0	—
	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	2	①	—	2	2	0	0	1	—
	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	0	②	—	2	2	0	0	0	—
	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	2	①	—	2	2	0	0	1 * 1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A/B/C:当該ループの計器数  
\*1 計器取り付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 貯蔵槽内燃燃料体等の著しい損傷時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	印直流電源を 延命した場合	計器名	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
大気への 拡散抑制 原水樽を水源とした可搬 型大型送水ポンプ車及び 可搬型スプレインズルによ る大気への拡散抑制	判断基準	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	0	0	1*1	—
		使用済燃料ピット可搬型 エアモニタ	1	0	0	1*1	—	—	—	—
		使用済燃料ピット監視カメ ラ	1	0	1	1	—	—	—	—
		モニタリングホスト	7	7	0	0	—	—	—	—
操作	[1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等]のうち、1.11.2.3(3)「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ」にて整備する。	モニタリングステーション	1	1	0	0	—	—	—	—
		合計	11	16	0	1	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 計器取付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			
大気への 拡散抑制  可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水艇による 大気への拡散抑制	操作	1.12.2.2(1)h.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインジエクタによる大気への拡散抑制」と同様。										
		使用済燃料ピット温度 (A M用)	2	2	0	0	—	2	2	0	2	ケース10
		使用済燃料ピット温度 (A M用)	2	2	0	2	—	2	2	0	2	ケース10
		使用済燃料ピット水位 (A M用)	2	2	0	0	—	2	2	0	2	ケース10
		使用済燃料ピット水位 (A M用)	2	2	0	0	—	2	2	0	2	ケース10
		使用済燃料ピット水位 (A M用)	2	2	0	0	—	2	2	0	2	ケース10
		使用済燃料ピット水位 (A M用)	2	2	0	0	—	2	2	0	2	ケース10
		使用済燃料ピット水位 (A M用)	2	2	0	0	—	2	2	0	2	ケース10
		使用済燃料ピット水位 (A M用)	2	2	0	2	—	2	2	0	2	ケース10
		使用済燃料ピット水位 (A M用)	2	2	0	2	—	2	2	0	2	ケース10

\*1 計器取付け後監視可能  
全、すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C): 当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価							
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合								
大気への拡散抑制 可搬型大気浄化装置が システム停止による 大気への拡散抑制	操作	使用済燃料ピット水位(可搬型)	2	0	0	2 * 1	①	—	—	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	0	2	ケース10	
		使用済燃料ピット水位(可搬型)	2	0	0	2 * 1	①	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	0	ケース10	
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	0	②	—	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	0	1 * 1	ケース10	
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	1	0	0	②	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	1	0	0	0	ケース10	
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	1 * 1	①	—	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	0	1 * 1	ケース10	
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	0	②	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	0	0	ケース10	
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	0	②	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	0	0	ケース10	
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	0	②	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	0	0	ケース10	
		モニタリングポスト	7	7	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		モニタリングステーション	1	1	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B):当該ループの計器数  
\*1 計器取り付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 貯蔵槽内燃材料等の著しい損傷時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価												
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合											
海洋への 拡散抑制	放射性物質燃焼による 海洋への拡散抑制	基判 遮断																				
		操作	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	荷揚機シルトフェンスによ る海洋への拡散抑制	基判 遮断																				
		操作	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	間口部シルトフェンスによ る海洋への拡散抑制	基判 遮断																				
		操作	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等 原子炉建屋周辺における航空機衝突による航空機燃料火災時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		
初期対応における 消防活動	化学消防自動車及び水 槽付消防ポンプ自動車に よる泡消火	ろ過水タンク水位	2	2	0	-	-	-	-	-	-
		ろ過水タンク水位	2	2	0	-	-	-	-	-	-
消防活動及び延焼防止 処置	可搬型大容量海水送水ポンプ車 及び小型放水砲による泡 消火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
延焼防止処置	大規模火災用消防自動車 による泡消火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機への機体燃料 漏洩火災	可搬型大容量海水送水ポンプ車 及び放水砲による 泡消火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのグループの計器の合計数

AB,C:当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
判断基準 補助給水ピットから脱気器タンク への水脈切替	判断基準	補助給水流量	3(3)	2	1	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	蒸気発生器水位(装滅)	3(3)	4	1	1	—
		脱気器タンク水位	1	1	0	0	—	蒸気発生器水位(装滅)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	操作	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	タービン動補助給水ポン プ出口圧力	1	1	0	0	—
		脱気器タンク水位	1	1	0	0	—	電動補助給水ポンプ出口 圧力	2	2	0	0	—
		補助給水ピット水位	3(3)	2	1	1	—	電動主給水ポンプ出口圧 力	1	1	0	0	—
判断基準 補助給水ピットから2次系純水タ ンクへの水脈切替	判断基準	補助給水流量	3(3)	2	1	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	1 (全)	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	蒸気発生器水位(装滅)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		2次系純水タンク水位	2	2	1	1	—	蒸気発生器水位(装滅)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	操作	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	タービン動補助給水ポン プ出口圧力	1	1	0	0	—
		2次系純水タンク水位	2	2	1	1	—	電動補助給水ポンプ出口 圧力	2	2	0	0	—
		補助給水ピット水位	2	2	0	0	—	タービン動補助給水ポン プ出口圧力	1	1	0	0	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

#### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM		直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合
補助給水ピットから海への水取切替	判断基準	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	—	—	—	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(減)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	蒸気発生器水位(減)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラムータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
補助給水ピットから代替給水ピット への水源切替	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		3(3)	3 (全)	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	1 (全)	—
		3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		2(2)	2 (全)	1 (全)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	

\*1 常用系から検閲を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのグループの計器の合計数

A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラムータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
補助給水ピットから原水槽への水 源切替	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		3(3)	3 (全)	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	1 (全)	—
		3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—	—	

\*1 常用系から検閲を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響		評価ケース		
				直後	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合	直後		A直流電源を 延命した場合	
2次系純水タンクから補助給水ピットへの補給	判断基準	補助給水流量	3(3)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	1 (全)	—	
		補助給水ピット水位	2(2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
		2次系純水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	操作	補助給水ピット水位	2(2)	1	1	—	—	2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	
		2次系純水タンク水位	2	0	0	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		2次系純水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
原水槽から補助給水ピットへの補給	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		1	1	0	1*1	3(3)	3(全)	3(全)	0	—
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	1	0	0	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	4(2)	4	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数  
\*1 常用系から検察を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的バロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
原子槽から補助給水ピットへの補給	判断基準	1次冷却材圧力(装域)	2(2)	2	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温度)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温度)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(装域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器圧力(装域)	1	1	0	0	—
格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—		

全:すべてのグループの計器の合計数

A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

#### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
原水槽から補助給水ピットへの補給	判断基準	格納容器再循環サンプ水 位(表観)				2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位				1	1	0	1	—
		格納容器水位				1	1	0	1	—
		燃料取替用水ピット水位		1		2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位				2(2)	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(KAM 用)				1	1	0	1	—
		炉心格納容器スプレイサ ンプ出口積算流量				1	1	0	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(表観)		1		2(2)	2	1	1	—

全：すべてのループの計器の合計数  
A(B,C)：当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合		
原水槽から補助給水ピットへの補給 判断基準	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	—	—	
		3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	—	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	—	—	—
	蒸気発生器水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
		3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	補助給水ピット水位	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
原水槽から補助給水ピットへの補給	判断基準	格納容器高レンジエリア モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器内高レンジガス モニタ(高レンジ)	—	—	—	—	—	—	—	7	0	0	—
		格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1
		エアロックエリアモニタ	2(2)	2	1	1	—	—	—	1	1	0	0
		炉内核計装区域エリアモニタ	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	0
		格納容器じんあいモニタ	1	1	0	0	—	—	—	2(2)	2	1	1
		格納容器ガスモニタ	1	1	0	0	—	—	—	2(2)	2	1	1
		拍幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	4(2)	4	1	1
		6—C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1

試験採取に必要なサンプ電線が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バスタータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合
原水槽から補助給水ピットへの補給	操作	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—

注: すべてのループの計器の合計数

AB,C): 当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流量を 延命した場合	B直流量を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流量を 延命した場合	B直流量を 延命した場合	
代替給水ピットから補助給水ピット への補給	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		1	1	0	1*1	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	1	0	0	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	1	1	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	1	1	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
加圧器水位	4(2)	4	1	1	4(2)	4	1	1	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
原子炉容器水位	1	1	1	1	1	1	1	1	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
加圧器水位	4(2)	4	1	1	4(2)	4	1	1	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
原子炉容器水位	1	1	1	1	1	1	1	1	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数  
\*1 常用系から検察を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代給給水ピットから補助給水ピット への補給  判 断 基 準	1次冷却材圧力(領域)	2(2)	2	1	1	4	4	0	0	—
		2(2)	2	1	1	4(2)	4	1	1	—
		4(2)	4	1	1	1	1	0	0	—
		2	2	0	2	2	2	0	2	—
		2	2	0	2	4(2)	4	1	1	—
		2	2	0	2	2	2	0	2	—
		2	2	0	2	2	2	0	2	—
		2	2	0	2	2	2	0	2	—
		2	2	0	2	2	2	0	2	—
		2	2	0	2	2	2	0	2	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

#### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ビットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替給水ビットから補助給水ビット への補給	判断基準	格納容器再循環サンプ水 位(表流)				2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位				1	1	0	1	—
		格納容器水位				1	1	0	1	—
		燃料取替用水ビット水位	2	1	1	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ビット水位				2(2)	2	1	1	—
		ロー格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(CAM 用)				1	1	0	1	—
		低圧格納容器スプレイサ ンプ出口積算流量				1	1	0	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(表流)	2	1	1	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合		
代給水ピットから補助給水ピットへの補給	判断基準	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

項目	抽出パラメータを計測する計器					補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
判断基準 代替給水ピットから補助給水ピット への補給	格納容器高レベルエリア モニタ(低レベル)	2(2)	2	1	1	—	—	2	1	1	1	—
	格納容器内高レベルガス モニタ(高レベル)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器内高レベルガス モニタ(低レベル)	2(2)	2	1	1	—	—	1	0	1	0	—
	エアロックエリアモニタ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	炉内核計装区域エリアモ ニタ	1	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—
	格納容器じんあいモニタ	1	1	0*	0	0	—	—	—	—	—	—
	格納容器ガスモニタ	1	1	0*	0	0	—	—	—	—	—	—
	泊幹線1L, 2L電圧	2	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—
	後立幹線1L, 2L電圧	2	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	4	0	0	—	—	4	1	1	—
	6-C1, C2, D母線電圧	3	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	5	0	2	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	8	8	0	4	—	—	—	—	—	—
操作	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—

\*1 試料採取に必要なサンプ電流が喪失するため監視不可

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的バロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合
海水から補助給水ピットへの補給 判断基準	ECCS作動	—	—	—	③	ECCS作動直後の作動状態を確認するバロメータ	—	—	—	—	—
		1	1	0	1*1	—	1次冷却材温度(広域-高 温度)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0
	炉心出口温度	—	—	—	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温度)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)
		—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1
	加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	サブクール度	1	1	0	0
		—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1
	高圧注入流量	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温度)	3(3)	3	3	0
		—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1
		—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1
ECCS作動	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	
	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	
炉心出口温度	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	
	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	
ECCS作動	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	
	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	
炉心出口温度	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	
	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	
ECCS作動	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	
	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数  
\*1 常用系から検察を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

「」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
海水から補助給水ピットへの補給 判断基準	1次冷却材圧力(圧域)	2(2)	2	1	1	①	—	4	4	0	0	ケース 1	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 6	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	2	2	0	0	2	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	2	2	0	0	2	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	4(2)	4	1	1	1	ケース 1	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	1	1	0	0	0	ケース 1	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	2(2)	2	1	1	1	ケース 6	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

#### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
海水から補助給水ピットへの補給	判断基準	格納容器再循環サンプ水 位(表域)								2	1	1	ケース 1	
		原子炉下部キャビティ水 位								1	1	0	1	ケース 1
		格納容器水位								1	1	0	1	ケース 1
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1				2(2)	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位							2(2)	2	1	1	ケース 2	
		ロー格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(KAM 用)							1	1	0	1	ケース 2	
		低圧格納容器スプレイサ ンプ出口積算流量							1	1	0	1	ケース 2	
		格納容器再循環サンプ水 位(表域)	2(2)	2	1	1			2(2)	2	1	1	ケース 1	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器						抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響		補助的バロメータ 分類理由	バロメータ 分類	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			推定ケース		
				直後	A直流量を 延命した場合					B直流量を 延命した場合	直後			A直流量を 延命した場合	B直流量を 延命した場合
備水を用いた補助給水ピットへの 補給 判 断 基 準		補助給水流量	3(3)		1 (B)	2 (A,C)	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 3		
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)		2 (A,C)	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)		3 (全)	3 (全)	—	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 3	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)		2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)		3 (全)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)		2	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 4	
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)					—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	12(6)		3 (全)	3 (全)	—	—	—	12(6)	12 (全)	0	3 (全)	ケース 4	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)		12 (全)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4
		補助給水ピット水位	2(2)		2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
判 断 基 準  母水を用いた補助給水ピットへの 補給	操作	格納容器高レンジエア モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器高レンジエア モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジガス モニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		エアロックエアモニタ	1	1	0	0	②	—	—	エアロックエアモニタ	1	1	0	0	ケース 1
		炉内核計装区域エアモ ニタ	1	1	0	0	②	—	—	炉内核計装区域エアモ ニタ	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	0	②	—	—	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	②	—	—	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	泊幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	泊幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	泊幹線1L, 2L, 巻巻幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—
		6-C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報 M/C補機 操作表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポン プ操作表示(運転状態)	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポン プ操作表示(運転状態)	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(R/C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプリング電流が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほろ蔵タンクへの水 源切替	判断基準	計器名称													
		低圧注入流量	2(2)	2	1	1					2	1	1	—	
		高圧注入流量	2(2)	2	1	1					4(2)	1	1	—	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1					2(2)	1	1	—	
		1次系純水タンク水位	1	1	0	0					—	—	—	—	
		ほろ蔵タンク水位	2(2)	2	1	1					—	—	—	—	
		1次系純水タンク水位	1	2	1	1					1	0	0	—	
		ほろ蔵タンク水位	2(2)	2	1	1					1	0	0	—	
		計器名称													
		燃料取替用水ピット水位													
加圧器水位															
原子炉容器水位															
格納容器再循環サンプ水位 (位広蔵)															
燃料取替用水ピット水位															
加圧器水位															
原子炉容器水位															
格納容器再循環サンプ水位 (位広蔵)															
1次系純水補給ライン流 量制御															
ほろ蔵補給ライン流量制御															

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合							
燃料取替用水ピット外から補助給水 ピットへの水源切替	判断基準	低圧注流入量	2(2)	2	1	1	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		高圧注流入量	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
	操作	燃料取替用水ピット外から補助給水 ピットへの水源切替	燃料取替用水ピット水位	1	1	0	1	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
			代替格納容器スプレイング出口積算流量	2(2)	2	1	1	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
			燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
			補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
			補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
			補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
	操作	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
	操作	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
操作	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	代替格納容器スプレイング出口積算流量	1	1	0	1	1	ケース 2	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
燃料取替用水ピットからろ過水タ ンクへの水源切替	判 断 基 準	低圧注流入量	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		高圧注流入量	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
燃料取替用水ピットから海への水 源切替	低圧注流入量	2(2)	2	1	1					2	1	ケース 3
	高圧注流入量	2(2)	2	1	1					4(2)	1	ケース 3
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1					1	1	ケース 3
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1					2(2)	1	ケース 3
										2(2)	1	ケース 3
										4(2)	1	ケース 3
									1	1	ケース 3	
									2(2)	1	ケース 3	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流量を 延命した場合	B直流量を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流量を 延命した場合	B直流量を 延命した場合			
燃料取替用水ピット外から代替給水 ピットへの水源切替	明 断 基 準	代替格納容器スプレイズ ンブ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—	
			2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	
			2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	
		燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
			補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
			加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉容器水位	原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	—	—	—
			格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
			燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		加圧器水位	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
			燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
			格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—		
原子炉容器水位	原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	—	—	—		
	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—		
原子炉容器水位	原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	—	—	—		
	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
燃料取替用水ピット外から取水槽への水源切替	明 断 基 準	代替格納容器スプレイズ ンブ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	
			燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
				補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
			燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
			燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
			燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
			燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
			燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—		
	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
1次系絶熱タンク及び1号廃タンクから燃料取替用水ピットへの補給	ECCS作動	—	2	1	1	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	加圧器水位	4(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	加圧器水位	4(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	—	—	—	—	—	—	—	—
	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	加圧器水位	4(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合			
1次冷却水タンク及びD55貯蔵タンク から燃料取替用水ピットへの供給	明 断 基 準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	2	2	0	2	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2	2	0	2	—	—	—	2	2	1	0	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	—	—	—	2	2	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	2	1	1	—
		B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(A M用)	1	1	0	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	2	2	1	1	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
判断基準 1次系純水タンク及びほろ濃タンク から燃料取替用水ピットへの補給	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	2	1	1	—	
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—	
	1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	—	0	0	—	—	—	—	
	ほろ濃タンク水位	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—	
	補助排気サンプタンク水位	2	2	0	0	—	—	0	0	2(2)	2	1	1	
	蒸気発生器再循環サンプ水位(狭域)	12(6)	4(2)	—	—	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	—	—	—	—	—	—	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2	2	0	0	—	—	0	0	2(2)	2	1	1	—
排気筒ガスモニタ	2	0*1	0	0	—	—	0	0	2(2)	2	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプ電源が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

### 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ分類理由				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合			
1次冷却水タンク及び1号圧力容器からの燃料取替用水ピットへの供給 判断基準	排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	1	0*1	0	0	—	—	2(2)	2	1	1	—		
		4(2)	4	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—		
		2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—		
		12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—		
		12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—		
		2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—		
	排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	—	—	2(2)	2	1	1	—		
		4(2)	4	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—		
		2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—		
		12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—		
		12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—		
		2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

「」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
1次系補水タンク及び1号廃タンク から燃料取替用水ピットへの補給	復水器排気ガスモニタ	1	0 *1	0	0	—	—	—	—	—	
		蒸気発生器ブローダウン 水モニタ	1	0 *2	0	0	—	—	—	—	—
			3	3	0	0	—	—	—	—	—
	蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	補助給水流量		3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	補助給水流量		3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	—	—
		1次冷却材圧力(装域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	加圧器水位		4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 位(装域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	蒸気発生器水位(装域)		12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

AB,C:当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプ電源が喪失するため監視不可

\*2 プラントトリップによりサンプラインが閉止されるため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	
1次冷却水タンク及びD550脱タンク から燃料取替用水ピットへの供給 判断基準	余熱除去冷却器入口温 度	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	2	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	4	1	1	—	
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	—	0	2	0	0	—	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	2	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	4	1	1	—	
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	—	0	2	0	0	—	
	加圧器速がしタンク水位	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	2	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	4	1	1	—	
		格納容器サンプ水位	2	2	0	—	0	2	1	0	—	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	2	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	4	1	1	—	
		格納容器サンプ水位	2	2	0	—	0	2	1	0	—	
加圧器速がしタンク圧力	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	2	1	1	—		
	加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	4	1	1	—		
	格納容器サンプ水位	2	2	0	—	0	2	1	0	—		
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	2	1	1	—		
	加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	4	1	1	—		
	格納容器サンプ水位	2	2	0	—	0	2	1	0	—		
加圧器速がしタンク温度	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	2	1	1	—		
	加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	4	1	1	—		
	格納容器サンプ水位	2	2	0	—	0	2	1	0	—		
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	2	1	1	—		
	加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	4	1	1	—		
	格納容器サンプ水位	2	2	0	—	0	2	1	0	—		

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
1次系純水タンク及びほろ蔵タンク から燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	—	—	—	—	2	1	1	—
		エアロックエリアモニタ	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	—
		炉内核計装区域エアモ ニタ	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	—
		格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	—	—	—	—	2	2	1	—
		格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	—	—	—	—	2	2	1	—
		ほろ蔵タンク水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	2	2	1	—
		1次系純水タンク水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	2	2	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	1	1	0	—
		ほろ蔵補給ライン流量制御	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	2	2	1	—
操作	1次系純水補給ライン流 量制御	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	—	
	1次系純水補給ライン流 量制御	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプ電源が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの供給	高圧注入流量	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器再循環サブ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
格納容器再循環サブ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
加圧器圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
1次冷却水タンクから燃料取替用水ピットへの備給	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM用)	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		格納容器圧力(B表域)	2	2	0	2	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
	格納容器再循環サンプ水位(B表域)	2	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		B—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	—	—	—
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
判断基準 1次系純水タンクから燃料取替用 水ピットへの補給	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	—
		2(2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—
		1	1	0	0	—	—	1次系純水タンク水位	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	—	—	2次系純水タンク水位	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
	補助線路サンプタンク水 位	2	2	0	0	—	—	補助線路サンプタンク水 位	2(2)	2	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	—	—	—	—	—
	排気筒ガスモニタ	2	2	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		—	—	—	—	—	—	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
—	—	—	—	—	—	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプング電源が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
1次冷却水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	計器名称											
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)				2	1	1				
		加圧器水位	4(2)				4	1	1				
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)				2	1	1				
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)				12 (全)	3 (全)	3 (全)				
		主蒸気ライン圧力	12(6)				12 (全)	3 (全)	3 (全)				
	1次冷却材圧力(広域)	計器名称											
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)				2	1	1				
		加圧器水位	4(2)				4	1	1				
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)				2	1	1				
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)				12 (全)	3 (全)	3 (全)				
		主蒸気ライン圧力	12(6)				12 (全)	3 (全)	3 (全)				

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	復水器排気ガスモニタ	1	0 *1	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		蒸気発生器ブローダウン水モニタ	1	0 *2	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	3(全)	3(全)	2(A,C)	1(B)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	1(A,C)	—	—	3(全)	3(全)	2(A,C)	3(全)	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	1(A,C)	—	—	3(全)	3(全)	2(A,C)	3(全)	—
		1次冷却材圧力(装域)	2(2)	2	1	1	—	—	2	1	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	4(2)	1	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水位(装域)	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	1	1	1	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	—
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプ電源が喪失するため監視不可  
\*2 プラントトリップに即サンプルラインが閉止されるため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		B:直流電源を 延命した場合	
1次冷却水タンクから燃料取替用水ピットへの備給	判断基準	余熱除去冷却器入口温度	2	2	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		余熱除去冷却器出口温度	2	2	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	
		加圧器速がしタンク水位	1	1	0	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	
		加圧器速がしタンク圧力	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器サンブ水位	2	2	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	
		格納容器サンブ圧力	2	2	0	—	—	格納容器サンブ水位	2	2	1	0	—	
			加圧器速がしタンク温度	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
			加圧器速がしタンク圧力	1	1	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
			加圧器速がしタンク水位	1	1	0	—	—	格納容器サンブ水位	2	2	1	0	—
			加圧器速がしタンク圧力	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
			加圧器速がしタンク温度	1	1	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
			加圧器速がしタンク水位	1	1	0	—	—	格納容器サンブ水位	2	2	1	0	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	2(2)	2	1	0	1	—	—	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	—	
		1	1	0	0	—	—	炉内核計装区域エリアモニタ	1	1	0	0	—	
		1	0*1	0	0	—	—	格納容器じんあいモニタ	1	2	1	1	—	
		1	0*1	0	0	—	—	格納容器ガスモニタ	1	2	1	1	—	
		2(2)	2	1	1	—	—	1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	
		1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	1	2	1	1	—	
		1	1	0	0	—	—	1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	
		1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	1	2	1	1	—	
		1	1	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	1	2	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプ量電流が喪失するため監視不可

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		高圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉容器水位	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	—	—	—	—	—	—	—	—
		加圧器水位	4(2)	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉容器水位	1	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	—	—	—	—	—	—	—	—
加圧器圧力	4	4	0	0	4	4	0	0	—		
1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3	3	3	3	3	3	3	—		
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3	3	3	3	3	3	3	—		
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3	3	3	3	3	3	3	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		B:直流電源を 延命した場合	
2次系補水タンクから使用済燃料 ピットを経由した燃料取替用水 ピットへの補給	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		格納容器圧力(AAM用)	4(2)	4	1	1	—	—	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(B表域)	2	2	0	2	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
	格納容器再循環サンプ水 位(B表域)	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	4(2)	4	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
	補給給水ピット水位	格納容器再循環サンプ水 位(B表域)	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	格納容器再循環サンプ水 位(B表域)	1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—	
	代替格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量	1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
2次系補水タンクから使用済燃料 ピットを経由した燃料取替用水 ピットへの補給	格納容器再循環サンプ水位(仮域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2	1	—
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	補助建屋サンプタンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	2(2)	1	—
	格納容器再循環サンプ水位(仮域)	—	—	—	—	—	—	—	—	4(2)	1	—
	蒸気発生器水位(仮域)	—	—	—	—	—	—	—	—	12(6)	3 (全)	—
	主蒸気ライン圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	12(6)	3 (全)	—
	1次冷却材圧力(仮域)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	—
加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	4(2)	4	—	
格納容器再循環サンプ水位(仮域)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	—	
蒸気発生器水位(仮域)	—	—	—	—	—	—	—	—	12(6)	3 (全)	—	
主蒸気ライン圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	12(6)	3 (全)	—	
1次冷却材圧力(仮域)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	—	
加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	4(2)	4	—	
格納容器再循環サンプ水位(仮域)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	—	
蒸気発生器水位(仮域)	—	—	—	—	—	—	—	—	12(6)	3 (全)	—	
主蒸気ライン圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	12(6)	3 (全)	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプ電源が喪失するため監視不可

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
2次系純水タンクから使用済燃料 ピットを經由した燃料取替用水 ピットへの補給	判断 基準	計器名称	1	0 *1	0	0	1	2	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニ タ(低レンジ)									
		計器名称	1	0 *1	0	0	1	2	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニ タ(高レンジ)									
		計器名称	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		1次冷却材圧力(広域)									
		計器名称	4(2)	4(2)	—	—	4(2)	4(2)	1	1	—
		加圧器水位									
		計器名称	2(2)	2(2)	—	—	2(2)	2(2)	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)									
		計器名称	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		蒸気発生器水位(狭域)									
		計器名称	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		主蒸気ライン圧力									
		計器名称	2(2)	2(2)	—	—	2(2)	2(2)	1	1	—
		1次冷却材圧力(広域)									
		計器名称	4(2)	4(2)	—	—	4(2)	4(2)	1	1	—
		加圧器水位									
		計器名称	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)									
		計器名称	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		蒸気発生器水位(狭域)									
		計器名称	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		主蒸気ライン圧力									

\*1 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
2次系純水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	復水器排気ガスモニタ	1	0 *1	0	0	—	—	—	—	—	—
		蒸気発生器ブローダウン 水モニタ	1	0 *2	0	0	—	—	—	—	—
	高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	—	—	—	—	—	
	蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	1次冷却材圧力(装域)	2(2)	2 (全)	1 (B)	1 (A,C)	—	—	—	—	—	—
		加圧器水位	4(2)	4 (全)	1 (B)	1 (A,C)	—	—	—	—	—
	格納容器再循環サンプ水位(装域)	2(2)	2 (全)	1 (B)	1 (A,C)	—	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可  
\*2 プラントトリップ時にサンプルラインが閉止されるため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合		B:直流電源を 延命した場合
2次系補水タンクから使用済燃料 ピットを藉由した燃料取替用水 ピットへの補給	余熱除去冷却器入口温 度	余熱除去冷却器入口温 度	2	2	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—
	余熱除去冷却器出口温 度	余熱除去冷却器出口温 度	2	2	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—
	加圧器速がしタンク水位	加圧器速がしタンク水位	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器サンブ水位	2	2	0	—	—	格納容器サンブ水位	2	2	1	0	—
	加圧器速がしタンク圧力	加圧器速がしタンク圧力	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器サンブ水位	2	2	0	—	—	格納容器サンブ水位	2	2	1	0	—
加圧器速がしタンク温度	加圧器速がしタンク温度	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	
	加圧器水位	4(2)	4	1	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	
	格納容器サンブ水位	2	2	0	—	—	格納容器サンブ水位	2	2	1	0	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水となる水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合			
2次系海水タンクから使用済燃料ピットを抽出した燃料取替用水ピットへの補給	判 断 基 準	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—	
		エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	—	—	2	1	1	—
		炉内核計装区域エアモニタ	1	1	0	0	—	—	—	—	2	1	1	—
		格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	0	—	—	—	—	2	1	1	—
		格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	—	—	—	—	2	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2	0	0	—
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	2	0	0	—
		使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	—	—	2	0	0	—
		使用済燃料ピット水位(可 搬型)	2	2	0	0	—	—	—	—	2	0	0	2*2
		使用済燃料ピット水位(可 搬型)	2	2	0	0	—	—	—	—	2	0	0	2*2

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプ電源が喪失するため監視不可

\*2 計器取付け後、監視可能

〔 〕 の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—
		高圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—
		加圧器水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		高圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—
		加圧器水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		高圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響			評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
ろ過水タンクから燃料取替用水 ピットへの供給	判断基準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	2	2	0	2	—
		格納容器内温度	2	2	0	2	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(後端)	2	2	0	2	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(表端)	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—		
格納容器水位	1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—		
B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—		
代替格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量	1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの供給 判断基準	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	2	1	1	—
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	補助排気サンプタンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	2(2)	2	1	1
	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2	2	0	0	—	—	—	—	4(2)	4	1	1
	蒸気発生器水位(狭域)	2	2	0	0	—	—	—	—	2(2)	2	1	1
	主蒸気ライン圧力	2	2	0	0	—	—	—	—	12(6)	12	3	3
	1次冷却材圧力(広域)	2	2	0	0	—	—	—	—	12(6)	12	3	3
	1次冷却材圧力(広域)	2	2	0	0	—	—	—	—	2(2)	2	1	1
	加圧器水位	2	2	0	0	—	—	—	—	4(2)	4	1	1
	排気筒ガスモニタ	2	2	0	0	—	—	—	—	2(2)	2	1	1
格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2	2	0	0	—	—	—	—	12(6)	12	3	3	
蒸気発生器水位(狭域)	2	2	0	0	—	—	—	—	12(6)	12	3	3	
主蒸気ライン圧力	2	2	0	0	—	—	—	—	12(6)	12	3	3	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合			
ろ過水タンクから燃料取替用水 ピットへの補給	判断基準	計器名称										
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)				1			1		
		加圧器水位	4(2)				1			1		
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)				1			1		
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)				3 (全)			3 (全)		
		主蒸気ライン圧力	12(6)				3 (全)			3 (全)		
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)				1			1		
		加圧器水位	4(2)				1			1		
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)				1			1		
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)				3 (全)			3 (全)		
主蒸気ライン圧力	12(6)				3 (全)			3 (全)				

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	復水器排気ガスモニタ	1	0 *1	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		蒸気発生器ブローダウン水モニタ	1	0 *2	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	—	—	12(全)	12(全)	3(全)	—	
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	12(全)	3(全)	—	
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	3(全)	3(全)	1(0)	2(A,C)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	—	—	3(全)	3(全)	1(0)	2(A,C)	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	—	—	3(全)	3(全)	1(0)	2(A,C)	—
		1次冷却材圧力(装域)	2(2)	2	—	—	—	—	2	2	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	4	4	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水位(装域)	2(2)	2	0	0	—	—	2	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	12(全)	3(全)	3(全)	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A,B,C:当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプ電源が喪失するため監視不可  
\*2 プラントトリップに即サンプルラインが閉止されるため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合
ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	余熱除去冷却器入口温度	2	2	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		余熱除去冷却器出口温度	2	2	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		加圧器速がしタンク水位	1	1	0	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—
		加圧器速がしタンク圧力	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		格納容器サンプ水位	2	2	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器サンプ圧力	2	2	0	—	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	—
	判断基準	加圧器速がしタンク温度	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		加圧器速がしタンク圧力	1	1	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器サンプ温度	2	2	0	—	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	—
		格納容器サンプ圧力	2	2	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		格納容器サンプ流量	2	2	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器サンプ圧力	2	2	0	—	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等	判断基準	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	—
		1	1	0	0	—	—	炉内核計装区域エリアモニタ	1	1	0	0	—
		1	0*1	0	0	—	—	格納容器じんあいモニタ	1	2	1	1	—
		1	0*1	0	0	—	—	格納容器ガスモニタ	1	2	1	1	—
		2(2)	2	1	1	—	—	ろ過タンク水位	2	2	0	0	—
操作	ろ過タンクから燃料取替用水ピットへの補給	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプ量電流が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合		B:直流量を 延命した場合			
原水槽から燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	3 (全)	0	—	—	—	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	1	1	0	0	—	—
		高圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	4	1	1	1	—	—
		低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	2	2	1	1	—	—
		1次冷却材圧力広域	2(2)	2	1	1	—	—	4	1	1	1	—	—
		原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	2	2	1	1	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2	2	1	1	—	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	4	4	1	1	—	—
		原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	2	2	1	1	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2	2	1	1	—	—
加圧器圧力	4	4	0	0	—	—	4	4	0	0	—	—		
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3	3	3	3	0	—		
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3	3	3	3	0	—		
原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—		
サブクール度	1	1	—	—	—	—	1	1	0	0	—	—		
1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	2	2	1	1	—	—		
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3	3	3	3	0	—		
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3	3	3	3	0	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
原水槽から燃料取替用水ピットへの備給	判断基準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—		
B—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—		
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—		

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
原水槽から燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	格納容器再循環サンプル水位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—	
		補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—	
		格納容器再循環サンプル水位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—	
		補助建屋サンプルタンク水位	2	2	0	0	—	—	—	2	1	1	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—	
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—		
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—	—		
補助建屋サンプルタンク水位	2	2	0	0	—	—	—	2	1	1	—	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
原水槽から燃料取替用水ピットへの備給	判 断 基 準	排気筒ガスモニタ	2	0 *1	0	0	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	1	0 *1	0	0	—	—	—	格納容器再循環サンプリング水	4(2)	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0 *1	0	0	—	—	—	格納容器再循環サンプリング水(広域)	2(2)	1	1	—
		格納容器再循環サンプリング水	2	0 *1	0	0	—	—	—	格納容器再循環サンプリング水(狭域)	12(6)	3 (全)	3 (全)	—
		主蒸気ライン圧力	2	0 *1	0	0	—	—	—	主蒸気ライン圧力	12(6)	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材圧力(広域)	2	0 *1	0	0	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	1	1	—
		加圧器水位	2	0 *1	0	0	—	—	—	加圧器水位	4(2)	1	1	—
		格納容器再循環サンプリング水	2	0 *1	0	0	—	—	—	格納容器再循環サンプリング水(狭域)	2(2)	1	1	—
		加圧器水位	2	0 *1	0	0	—	—	—	加圧器水位	4(2)	1	1	—
		主蒸気ライン圧力	2	0 *1	0	0	—	—	—	主蒸気ライン圧力	12(6)	3 (全)	3 (全)	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

〔 〕 の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合				
原水槽から燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	復水器排気ガスモニタ	1	0 *1	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		蒸気発生器ブローダウン水モニタ	1	0 *2	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	—	—	12(全)	12(全)	3(全)	—	
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	3(全)	3(全)	2(A,C)	1(B)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	—	—	3(全)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	—	—	3(全)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—
		1次冷却材圧力(装域)	2(2)	2	—	—	—	—	2	2	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	4	4	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水位(装域)	2(2)	2	0	0	—	—	2	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	—
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	—

全:すべてのループの計器の合計数

AB,C:当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプ電源が喪失するため監視不可

\*2 プラントトリップ時にサンプルラインが閉止されるため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合
原水槽から燃料取替用水ピットへの備給	判断基準	余熱除去冷却器入口温度	2	2	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		余熱除去冷却器出口温度	2	2	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		加圧器速がしタンク水位	1	1	0	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—
		加圧器速がしタンク圧力	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		格納容器サンプ水位	2	2	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器サンプ圧力	2	2	0	—	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	—
	判断基準	加圧器速がしタンク温度	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		加圧器速がしタンク圧力	1	1	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器サンプ温度	2	2	0	—	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	—
		格納容器サンプ圧力	2	2	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		格納容器サンプ流量	2	2	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器サンプ圧力	2	2	0	—	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
原水槽から燃料取替用水ピットへの供給 判断基準		格納容器高レンジエリア モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		モニタリングポスト	—	—	—	—	—	—	7	7	0	0	—	
		格納容器内高レンジガス モニタ(高レンジ)	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		エアロックエリアモニタ	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	0	0	—	
		炉内核計装区域エリアモニタ	—	—	—	—	—	—	1	1	0	0	—	
		エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	1	1	0	0	—	
		格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	0	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	4	1	1	—
		6-C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプ電線が喪失するため監視不可

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合
原水槽から燃料取替用水ピットへの補給	操作	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—

注: すべてのループの計器の合計数  
A(B,C): 当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
代替給水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	3 (全)	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	1	0	—
		高圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—
		低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	1	1	—
		原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—
		加圧器圧力	4	4	0	0	—	—	0	0	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3 (全)	0	—
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3 (全)	0	—		
原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	—		
サブクール度	1	1	—	—	—	—	0	0	—		
1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	1	1	—		
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3 (全)	0	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	1	1	—		
加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	1	1	—		
原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	—		
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	1	1	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	1	1	—		
加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	1	1	—		
原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	1	1	—		
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	1	1	—		
加圧器圧力	4	4	0	0	—	—	0	0	—		
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3 (全)	0	—		
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3	3	3	—	—	3 (全)	0	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
代替給水ピットから燃料取替用水 ピットへの供給	判断基準	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	1	1	0	0	—	
		格納容器再循環サンプ水位(表鏡)	2	2	0	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	—	—	—	—	—	1	1	0	0	—	
		格納容器水位	2	2	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		補助給水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—	
		B—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	—	—	—	—	—	1	1	0	0	1	—
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	—	—	—	—	—	1	1	0	0	1	—

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代り給水ピットから燃料取替用水 ピットへの補給	判断基準	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—
		補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	3	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	12	3 (全)	3 (全)	—
		格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	3	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	12	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	3	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	—	3	2 (A,C)	1 (B)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	12	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3	3 (全)	0	—
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	—	—	—		
補助建屋サンプタンク水位	2	2	0	0	—	—	—	2	2	1	1	—	
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	12	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	12	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
代替給水ピットから燃料取替用水ピットへの供給 判 断 基 準		排気筒ガスモニタ	2	0*1	0	0	—		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	1	0*1	0	0	—		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	—		格納容器再循環サンブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	—		格納容器再循環サンブ水 位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	—		主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	—		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	—		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	—		格納容器再循環サンブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	—		格納容器再循環サンブ水 位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	—		主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—

\*1 試料採取に必要なサンブ水電源が喪失するため監視不可  
全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替給水ピットから燃料取替用水 ピットへの供給	判断基準	復水器排気ガスモニタ	1	0 *1	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—
		蒸気発生器ブローダウン 水モニタ	1	0 *2	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—
		高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	—	—	3(全)	1(0)	2(A,C)	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	—	—	3(全)	1(0)	2(A,C)	—
		1次冷却材圧力(装域)	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	4	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水位(装域)	2(2)	2	0	0	—	—	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(装域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—

全:すべてのループの計器の合計数

AB,C:当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプ電源が喪失するため監視不可

\*2 プラントトリップに即サンプルラインが閉止されるため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	
代替給水ピットから燃料取替用水 ピットへの供給  判 断 基 準	余熱除去冷却器入口温 度	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	1	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	1	1	1	—	
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	—	0	0	0	0	—	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	1	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	1	1	1	—	
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	—	0	0	0	0	—	
	加圧器速がしタンク水位	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	1	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	1	1	1	—	
		格納容器サンプ水位	2	2	0	—	1	1	1	0	—	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	1	1	1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	1	1	1	—	
		格納容器サンプ水位	2	2	0	—	1	1	1	0	—	
加圧器速がしタンク温度	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	1	1	1	—		
	加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	1	1	1	—		
	格納容器サンプ水位	2	2	0	—	1	1	1	0	—		
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	0	—	1	1	1	1	—		
	加圧器水位	4(2)	4	0	—	1	1	1	1	—		
	格納容器サンプ水位	2	2	0	—	1	1	1	0	—		

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替給水ピットから燃料取替用水 ピットへの供給	判断 基 準	格納容器高レンジエリア モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		モニタリングポスト	—	—	—	—	—	—	7	7	0	0	—
		格納容器内高レンジガス モニタ(高レンジ)	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		エアロックエリアモニタ	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	0	0	—
		炉内核計装区域エリアモ ニタ	—	—	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器じんあいモニタ	1	1	0	0	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	—	—	2(2)	2	1	1	—
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	4(2)	4	1	1	—
		6-C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—	—	—
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプリング電流が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
海水を用いた燃料取替用水ピットへの供給 判断基準	ECCS作動	—	—	—	—	③	ECCS作動直後の作動状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—
	炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	0	0	ケース 1
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	ケース 1
	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	サブクール度	1	1	0	ケース 6
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	ケース 6
	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	ケース 3
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	ケース 3
	原子炉容器水位	1	1	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	ケース 3
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	ケース 3	
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	ケース 3	
加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	ケース 3	
原子炉容器水位	1	1	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	ケース 3	
格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	ケース 3	
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	ケース 3	
加圧器圧力	4	4	0	0	—	—	加圧器圧力	4	4	0	ケース 1	
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3	3	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3	ケース 6	
1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3	3	3	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3	3	ケース 6	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
廃水を用いた燃料取替用水ピット への補給	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	4	1	1	ケース6	
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	0	—	2	0	2	ケース6	
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	2	0	2	ケース1	
		格納容器内温度	2	2	0	0	—	2	1	1	ケース6	
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	2	2	①	—	4	1	1	ケース1	
		格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	—	1	0	0	ケース1	
	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	0	2	①	—	2	1	1	ケース6	
		原子炉下部キャセティ水位	1	1	0	0	—	1	0	1	ケース1	
	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	1	1	1	ケース1	
		燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1	①	—	2	1	1	ケース2
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	①	—	2	1	1	ケース2		
B—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	0	—	—	1	0	0	1	ケース2	
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	0	—	—	1	0	0	1	ケース2	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
海水を用いた燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	—	2	1	1	ケース 1
		補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 3
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	①	—	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—
		補助循環サブタンク水位	2	2	0	0	②	—	—	2	1	1	ケース 5
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
断水を用いた燃料取替用水ピットへの補給	判別基準	排気筒ガスモニタ	2	0*1	0	0	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	1	1	ケース 5
		排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	1	0*1	0	0	加圧器水位	4(2)	1	1	ケース 5
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	格納容器再循環サンプリング水	2(2)	1	1	ケース 5
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	格納容器再循環サンプリング水(広域)	12(6)	3(全)	3(全)	ケース 5
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	主蒸気ライン圧力	12(6)	3(全)	3(全)	ケース 5
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	1	1	ケース 5
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	加圧器水位	4(2)	1	1	ケース 5
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	格納容器再循環サンプリング水	2(2)	1	1	ケース 5
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	格納容器再循環サンプリング水(広域)	12(6)	3(全)	3(全)	ケース 5
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	1	0*1	0	0	主蒸気ライン圧力	12(6)	3(全)	3(全)	ケース 5

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数  
\*1:試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直直電圧を 延命した場合	B直直電圧を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直直電圧を 延命した場合	B直直電圧を 延命した場合	
海水を用いた燃料取替用水ピットへの供給	復水器排気ガスモニタ	1	0 *1	0	0	②	—	12(全)	3(全)	3(全)	ケース 5	
		1	0 *2	0	0	②	—	12(全)	3(全)	3(全)	ケース 5	
	3	3	0	0	②	—	12(全)	3(全)	3(全)	ケース 5		
	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	①	—	12(全)	3(全)	3(全)	ケース 5		
	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	①	—	12(全)	3(全)	3(全)	ケース 5		
	2	2	0	0	②	—	2(2)	1	1	ケース 5		
	4(2)	4	1	1	①	—	4(2)	1	1	ケース 5		
	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	①	—	12(6)	3(全)	3(全)	ケース 5		
	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	①	—	12(6)	3(全)	3(全)	ケース 5		
	3(3)	3	2	2	①	—	3(3)	2	2	ケース 5		
	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	①	—	12(6)	3(全)	3(全)	ケース 5		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可  
\*2 プラントトリップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直圧電圧を 延命した場合			B:直圧電圧を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直圧電圧を 延命した場合		B:直圧電圧を 延命した場合	
断水を用いた燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	余熱除去冷却器入口温度	2	2	0	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 5
		余熱除去冷却器出口温度	2	2	0	0	②	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 5
		加圧器速がしタンク水位	1	1	0	0	②	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	ケース 5
		加圧器速がしタンク圧力	1	1	0	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 5
		格納容器サンプ水位	2	2	0	0	②	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 5
		格納容器サンプ水位	2	2	0	0	②	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	ケース 5
		加圧器速がしタンク温度	1	1	0	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 5
		加圧器速がしタンク温度	1	1	0	0	②	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 5
		格納容器サンプ水位	2	2	0	0	②	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	ケース 5
		格納容器サンプ水位	2	2	0	0	②	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	ケース 5

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
海水を用いた燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	格納容器高圧レンジエア モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器高圧レンジエア モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		格納容器内高圧レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器内高圧レンジガス モニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		エアロックエアモニタ	1	1	0	0	②	—	エアロックエアモニタ	1	1	0	0	ケース 1	
		炉内核計装区域エアモニタ	1	1	0	0	②	—	炉内核計装区域エアモニタ	1	1	0	0	ケース 1	
		格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	0	②	—	格納容器じんあいモニタ	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	②	—	格納容器内高圧レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	泊幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	泊幹線1L, 2L, 巻巻幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	
		後巻幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後巻幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—	—
		6-C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポン プ操作表示(運転状態)	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却海水ポン プ操作表示(運転状態)	—	—	—	—	—	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(R,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプリング電流が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替	判断基準	2	2	1	1	②	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		1	1	0	1	①	—	B-格納容器スプレイ冷却器ポンプ出口積算流量 (AM用)	2(2)	4	1	1	ケース 3
		1	1	0	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		1	1	0	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		1	1	0	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		2(2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	①	—	補助給水ピット水位	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	①	—	補助給水ピット水位	1	1	0	1	—
		2	2	0	0	—	—	格納容器スプレイ流量	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	B-格納容器スプレイ冷却器ポンプ出口積算流量 (AM用)	2(2)	2	1	1	—
燃料取替用水ピットから通水タンクへの水源切替	判断基準	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	—	—	補助給水ピット水位	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	—	—	通水タンク水位	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
燃料取替用水ピットから海への水 源切替	判断基準	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイ冷 却器センサ出口積算流量 (AM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		代替格納容器スプレイボ ンサ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	—	—	—
燃料取替用水ピットから代替給水 ピットへの水源切替	判断基準	B-格納容器スプレイ冷 却器センサ出口積算流量 (AM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ分類理由				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
燃料取替用水ピットから原水槽へ の水源切替	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	燃料取替用水ピット水位	1	1	0	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水 (位広域)	2(2)	2	1	1	1	—
	R-格納容器スプレイ冷却器サンプ出口積算流量 (AMF)	R-格納容器スプレイ水位	1	1	0	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水 (位広域)	2(2)	2	—	—	—	—
	補助給水ピット水位	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-高 温度)	3(3)	3	3	3	—	—	—	—	—
	加圧器圧力	4	4	0	0	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-高 温度)	3(3)	3	3	3	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-低 温度)	3(3)	3	3	3	—	—	—	—	—
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
	格納容器内温度	2	2	0	0	—	—	—	—	—
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
	格納容器内温度	2	2	0	0	—	—	—	—	—
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
	格納容器内温度	2	2	0	0	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
1次系純水タンク及び1次系脱タンク から燃料取替用水ピットへの供給 準備	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—
	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	—	—	1	1	0	1	—
1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	—	1	1	0	—	—	
	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—	
1次系脱タンク水位	1	1	0	0	—	—	1	1	0	—	—	
	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—	

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

2 1 1

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ分類理由				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
1次系純水タンク及びほぼ騰クタンクから燃料取替用水ピットへの供給 判 断 基 準		2(2)	2	1	1	—		格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	
		1	1	0	0	—		エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	—	
		1	1	0	0	—		格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	
		1	1	0	0	—		格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	
		1	0*1	0	0	—		格納容器じんあいモニタ	1	0*1	1	1	—	
		1	0*1	0	0	—		格納容器ガスモニタ	1	0*1	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプル電源が喪失するため監視不可

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの備給	判断基準	格納容器スプレイ流量	2	2	0	—	—	2	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	0	—	—	2	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	—	—	2	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水位	2(2)	2	1	—	—	2	2	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	2	2	1	1	—
		1次系純水タンク水位	1	1	0	—	—	—	—	—	—	—
		ほうげタンク水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	—	—	2	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	2	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	—	—	1	1	0	1	—
燃料取替用水ピット水位	1	1	0	—	—	1	1	0	1	—		
格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	—	—	2	2	1	1	—		

全:すべてのグループの計器の合計数  
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ分類理由				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
1次京純水タンクから燃料取替用水ピットへの備蓄	判断基準	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	
		1	1	0	0	—	—	エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	—	
		1	1	0	0	—	—	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	
		1	0*1	0	0	—	—	格納容器じんあいモニタ	1	0*1	1	1	—	
		1	0*1	0	0	—	—	格納容器ガスモニタ	1	0*1	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプル電源が喪失するため監視不可

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
2次系純水タンクから使用済燃料 ピットを排出した開始	判断基準	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力(狭域)	1	1	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
2次系純水タンクから使用済燃料 ピットを排出した開始	判断基準	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイ冷 却器ポンプ出口積算流量 (AM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	—	—	—	—
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

## 重大事故等対処に係る監視事項

### 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ分類理由				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
2次系純水タンクから使用済燃料ピットを抽出した燃料	判断基準	2(2)	2	1	1	—	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	
		1	1	0	0	—	エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	
		1	1	0	0	—	炉内核計装区域エアモニタ	1	1	0	0	—	—	
		1	1	0	0	—	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	
		1	0*1	0	0	—	格納容器じんあいモニタ	1	0*1	1	1	—	—	
		1	0*1	0	—	格納容器ガスモニタ	1	0*1	1	1	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試験採取に必要なサンプル電源が喪失するため監視不可

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		加圧器圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-高 温度)	3(3)	3	3	3	3	3	3	3	0
		加圧器圧力	4	4	0	0	4	4	0	0	0
		1次冷却材温度(広域-高 温度)	3(3)	3	3	3	3	3	3	3	0
		1次冷却材温度(広域-低 温度)	3(3)	3	3	3	3	3	0	3	3
		原子炉格納容器圧力	4(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	2	2	0	2	2
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	2	2	1	1	1

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
ろ過水タンクから燃料取替用水 ピットへの供給	判断基準	計器名称	格納容器スプレイ流量	2	0	0	—	—	—	—	—	
		格納容器スプレイ流量	2	0	0	—	—	—	—	—	—	
		計器名称	B-格納容器スプレイ冷 却器ポンプ出口積算流量 (AM用)	1	0	1	—	—	—	—	—	
		B-格納容器スプレイ冷 却器ポンプ出口積算流量 (AM用)	1	0	1	—	—	—	—	—	—	
		計器名称	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	1	1	—	—	—	—	—	
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	1	1	—	—	—	—	—	—	
		計器名称	燃料取替用水ピット水位	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		燃料取替用水ピット水位	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		計器名称	2次系転水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—
		2次系転水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—
		計器名称	使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—
使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—		
計器名称	ろ過水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—		
ろ過水タンク水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

「」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ分類理由				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの供給 判断基準	格納容器再循環サンプ水位(監視)	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位(監視)	2(2)	2	1	1	—	
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	格納容器内高レンジガスモニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジガスモニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	
	エアロクエリアモニタ	1	1	0	0	—	—	エアロクエリアモニタ	1	1	0	0	—	
	伊内核計装区域エアモニタ	1	1	0	0	—	—	伊内核計装区域エアモニタ	1	1	0	0	—	
	格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	0	—	—	格納容器内高レンジガスモニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	
	格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	—	—	格納容器内高レンジガスモニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	

注: すべてのループの計器の合計数  
A(B,C): 当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
断水を用いた燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	ECCS作動	—	—	—	③	ECCS作動直後の動作状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温度)	3 (全)	0	—	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	—	—	—	—	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	—	—	—	—	—	ケース 6
		高圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	—	—	—	—	ケース 3
		低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	—	—	—	—	ケース 3
		原子炉容器水位	1	1	0	②	—	—	—	—	—	ケース 1
		原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1
		サブクール度	1	1	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温度)	3(3)	3	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		加圧器圧力	4	4	—	—	—	—	—	—	—	ケース 1
1次冷却材温度(広域-高 温度)	3(3)	3	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6		
1次冷却材温度(広域-低 温度)	3(3)	3	—	—	—	—	—	—	—	ケース 6		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3		
加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3		
原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3		
格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3		
加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3		
原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3		
格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—	ケース 3		

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合					
海水を用いた燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイ冷却器ポンプ出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器再循環サブ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器圧力(AM用)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流量を 延命した場合	ハバメータ 分類		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流量を 延命した場合	B直流量を 延命した場合			
判 断 長 準 備 水を用いた燃料取替用水ピットへの供給	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	①	—	2	1	0	1	ケース 1	
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	—	—	1	0	—	1	ケース 1	
		格納容器水位	1	1	0	—	—	1	0	—	1	ケース 1	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	①	—	2	1	—	1	ケース 2	
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	2	1	—	1	ケース 2	
		E-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(KAM用)	1	1	0	—	—	1	0	—	1	ケース 2	
		代替格納容器スプレイサンプ出口積算流量	1	1	0	—	—	1	0	—	1	ケース 2	
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	①	—	2	1	—	1	ケース 1	
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	2	1	—	1	ケース 3	
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	1(B) 2(A,C)	①	—	3	1(B) 2(A,C)	—	1(B) 2(A,C)	3	ケース 3
		蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12(全)	3(全)	—	—	12	3(全)	—	3(全)	3	ケース 3
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	—	—	12	3(全)	—	3(全)	3	ケース 1
蒸気発生器水位(広域)	1次冷却炉温度(広域-低 温側)	3(3)	3(全)	2(A,C) 3(B)	①	—	3	2(A,C) 3(B)	—	3	0	ケース 4	
	1次冷却炉温度(広域-高 温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	3	3(全)	—	3	0	ケース 4	
	1次冷却炉圧力(広域)	2(2)	2	1	—	—	2	1	—	1	1	ケース 4	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	3(全)	①	—	3	3(全)	—	3	1(B)	ケース 1	
蒸気発生器水位(狭域)	1次冷却炉温度(広域-低 温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	3	3(全)	—	3	0	ケース 4	
	1次冷却炉温度(広域-高 温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	3	3(全)	—	3	0	ケース 4	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直電圧を 延命した場合	B直電圧を 延命した場合		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直電圧を 延命した場合	B直電圧を 延命した場合					
海水を用いた燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—		
		格納容器高レンジエア モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	2	1	1	ケース 1	
		格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	—	—	—	—	—	—	—	—	7	0	0	ケース 1	
		格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	1	1	ケース 1	
		エアロックエアモニタ	1	1	0	0	②	—	—	—	1	0	0	ケース 1	
		炉内核計装区域エアモニタ	1	1	0	0	②	—	—	—	2	1	1	ケース 1	
		格納容器じんホウモニタ	1	0*1	0	0	②	—	—	—	1	0	0	ケース 1	
		格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	②	—	—	—	2	1	1	ケース 1	
		泊停線 1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	泊停線 1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		後志幹線 1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線 1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		甲島線電圧, 乙島線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙島線の受電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	4	1	1	—
		6-C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水流量 器補機冷却水流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

\*1 試料採取に必要なサンプリング電流が喪失するため監視不可

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
代給水ピットから燃料取替用水 ピットへの補給  判 断 基 準	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	3 (全)	0	—
	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	1	0	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	3 (全)	0	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	—	—	—	—	—	—	3 (全)	0	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	—	—	—	—	—	—	3 (全)	0	—
	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	2	1	—
	加圧器水位	—	—	—	—	—	—	4	1	—
	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	格納容器再循環サブ水 位(広域)	—	—	—	—	—	—	2(2)	1	—
	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	2	1	—
	加圧器水位	—	—	—	—	—	—	4(2)	1	—
	原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合					
代替給水ピットを水源とした燃料 取替用水ピットへの補給	判断基準	代替格納容器スプレイホ ンブ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷 却器シンプ出口積算流量 (AM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
											格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
											燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
											格納容器 再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
											燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
											格納容器 再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
											燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
代燃料水ピットを水源とした燃料 取替用水ピットへの供給	判 断 基 準	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	—
			1	1	0	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	—
			1	1	0	—	格納容器水位	1	1	0	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
			2(2)	2	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
			1	1	0	—	E-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(MM 用)	1	1	0	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	—	代燃料格納容器スプレイサ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	—
			2(2)	2	1	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
			3(3)	3 (全)	1 (B)	—	補助給水ピット水位	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
			12(6)	12 (全)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
			3(3)	3 (全)	1 (B)	—	1次冷却炉温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	1次冷却炉温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
2(2)	2		1	—	1次冷却炉圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—		
3(3)	3 (全)		3 (全)	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	1次冷却炉温度(広域-低 温側)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	1次冷却炉温度(広域-高 温側)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	1次冷却炉圧力(広域)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	1次冷却炉温度(広域-低 温側)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	1次冷却炉圧力(広域)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
代替給水ピットを水源とした燃料 取替用水ピットへの供給 判断基準 事	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
	格納容器高レンジエアリア モニタ(高レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—
	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	0	1	—
	エアロックエアリアモニタ	1	1	0	0	—	—	2	1	—
	炉内核計装区域エアリアモ ニタ	1	1	0	0	—	—	2	1	—
	格納容器じんホウモニタ	1	0*1	0	0	—	—	2	1	—
	格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	—	—	2	1	—
	泊停線 1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—
	後志幹線 1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—
	中島操縦圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	4	1	—
	6-C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—
原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプリング電流が喪失するため監視不可

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	ハブメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合		
断水機から燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	ECCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3	3(全)	0	0	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	原子炉容器水位 サブクール度	1	1	0	0	0	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	
		高圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	
		低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	
								原子炉容器水位	1	1	1	1	1	1
								格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	1
								燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	1
								加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	1

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
原水槽から燃料取替用水ピットへの供給 判断基準		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器スプレイ流量	2	2	0	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	
		B-格納容器スプレイ冷却器ポンプ出口積算流量(AM用)	1	1	0	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
									格納容器内温度	2(2)	2	1	1	1	—
									燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
									格納容器再循環サンプル水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—
									燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
									格納容器再循環サンプル水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
断水機から燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2(2)	1	—	格納容器再循環サンプ水位	2(2)	2	1	1	—
			1	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	—	
			1	—	格納容器水位	1	1	0	1	—	
		格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2(2)	1	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
			2(2)	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
			1	—	E-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(KAM用)	1	1	0	1	—	
		格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2(2)	1	—	代替格納容器スプレインプ出口積算流量	1	1	0	1	—
			2(2)	1	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—
			2(2)	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水位(狭域)	3(3)	1 (B)	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
			12(6)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
			12(6)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	2 (A,C)	—	1次冷却炉温度(広域-低圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
3(3)	1 (B)		—	1次冷却炉温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—		
2(2)	—		—	1次冷却炉圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—		
	3(3)	3 (全)	—	1次冷却炉温度(広域-低圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		
	3(3)	3 (全)	—	1次冷却炉温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	—	1次冷却炉圧力(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
	3(3)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		
	3(3)	3 (全)	—	1次冷却炉温度(広域-低圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	—	1次冷却炉温度(広域-高温側)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
	3(3)	3 (全)	—	1次冷却炉圧力(広域)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		
	3(3)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
原水槽から燃料取替用水ピットへの供給 監視事項		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		格納容器高レンジエアリア モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	1	1	—
		格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器内高レンジガス モニタ(低レンジ)	2(2)	2	1	1	—	—	0	1	—
		エアロックエアリアモニタ	1	1	0	0	—	—	2	1	—
		炉内核計装区域エアリアモ ニタ	1	1	0	0	—	—	2	1	—
		格納容器じんホウモニタ	1	0*1	0	0	—	—	2	1	—
		格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	—	—	2	1	—
		泊停線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—
		中島線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	4	1	—
		6-C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数  
\*1 試料採取に必要なサンプリング電流が喪失するため監視不可

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.14 電源の確保に関する手順等 代替電源(交流)による給電手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			評価	
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
代替電源(交流)による給電手順等	判断基準	泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	泊幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—	—
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後立幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	4(2)	4	1	1	—	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		A, B-ディーゼルの発電機 電圧	2	2	0	0	③	ディーゼルの発電機の運転状態を監視す るパラメータ	2	2	2	2	—	—
		6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	③	非常用高圧母線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—
		4-A1, A2, B1, B2母 線電圧	4	4	0	0	③	常用及び非常用低圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		A, B-直流コントロー ル母線電圧	2	2	1	1	③	直流母線の受電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—
		A, B, C, D-計装用交 流分電機電圧	8	8	0	0	③	計装用交流分電機の受電状態を監視 するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		代替非常用発電機電圧, 周波数	6	6	0	0	③	代替非常用発電機の運転状態を監視 するパラメータ	6	6	6	6	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C): 当該ループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.14 電源の確保に関する手順等 代替電源(交流)による給電手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称 ( )内はPAM	直感	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM		直感	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	直流電源を 延命した場合	
代替電源(交流)による給電手順等 3号非常用受電設備による代替電源(交流)からの給電	判断基準	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	-	M/C母線電圧低警報	-	-	-	-	-	
		4-A1, A2, B1, B2母線電圧	4	4	0	0	-	M/C補機 操作器表示(運転状態) P/C電圧低警報	-	-	-	-	-	
	操作	代替非常用発電機電圧, 電力, 周波数	6	6	0	6	-	P/C補機 操作器表示(運転状態) 代替非常用発電機電圧, 電力, 周波数(現場)	6	6	6	6	6	-
		66kV泊支線1, 2号線電圧	1	1	1	1	-	66kV泊支線1, 2号線電圧表示灯	2	2	2	2	2	-
			66kV泊支線1, 2号線電圧表示灯	2	2	2	-	66kV泊支線1, 2号線電圧	1	1	1	1	1	-
			6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	M/C母線電圧低警報	-	-	-	-	-	-
			4-A1, A2, B1, B2母線電圧	4	4	0	0	M/C補機 操作器表示(運転状態) P/C電圧低警報	-	-	-	-	-	-
			A, B-直流コントロールセンター母線電圧	2	2	1	1	直流C/C補機操作器表示(運転状態)	-	-	-	-	-	-
			A, B, C, D-計装用交流分電盤電圧	8	8	0	0	計装用インバータ故障警報	-	-	-	-	-	-

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.14 電源の確保に関する手順等 代替電源(交流)による給電手順等

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				補助的バロメータ 分類理由	抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価		
		計器数 ( )内はPAM	直感	SBO影響 A:高電圧を 延命した場合	バロメータ 分類		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直感	SBO影響 A:高電圧を 延命した場合		抽出バロメータを 延命した場合	
代替電源(交流)による給電手順等 可搬型代替電源車による 代替電源(交流)からの給電	判断基準	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	③	非常用高圧母線の受電状態を監視するバロメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
		4-A1, A2, B1, B2母線電圧	4	4	0	0	③	非常用低圧母線の受電状態を監視するバロメータ	M/C補機 操作器表示(運転状態) P/C電圧低警報	—	—	—	—
	操作	代替非常用発電機電圧, 電力, 周波数	6	6	0	6	③	代替非常用発電機の運転状態を確認するバロメータ	P/C補機 操作器表示 代替非常用発電機電圧, 電力, 周波数(現場)	6	6	6	6
		6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	③	非常用高圧母線の受電状態を監視するバロメータ	M/C母線電圧低警報 M/C補機 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
	操作	4-A1, A2, B1, B2母線電圧	4	4	0	0	③	非常用低圧母線の受電状態を監視するバロメータ	P/C電圧低警報	—	—	—	—
		A, B, C, D-計器用交流分電圧母線電圧	2	2	1	1	③	直流母線の受電状態を監視するバロメータ	直流C/C補機操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
	操作	A, B, C, D-計器用交流分電圧母線電圧	8	8	0	0	③	計器用交流分電圧の受電状態を監視するバロメータ	計器用インバータ故障警報	—	—	—	—
		合計	全:すべてのグループの計器の合計数 A(B,C):当該グループの計器数										—

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.14 電源の確保に関する手順等 代替電源(交流)による給電手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ( )内はPAM	計器数	直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合		ハバメータ 分類	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	B.交流電源を 延命した場合
代替電源(交流)による給電手順等 別機間連絡ケーブルを 使用した別機間融通による 代替電源(交流)からの給 電	判断基準	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	
		6-A, B母線電圧(他号 印)	8(4)	8	2	2	—	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	
	操作	A, B-デューゼル発電機 電圧(他号印)	12	12	12	12	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	
		6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	
		4-A1, A2, B1, B2母 線電圧	4	4	0	0	—	P/C電圧低警報	—	—	—	—	
		A, B-直流コントロール センタ母線電圧	2	2	1	1	—	P/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	
		A, B-デューゼル発電機 電圧, 電力, 周波数(他号 印)	12	12	12	12	—	A, B-デューゼル発電機 電圧, 電力, 周波数(他号 印)(現場)	12	12	12	12	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.14 電源の確保に関する手順等 代替電源(交流)による給電手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	ハバメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ( )内はPAM	直放	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:高圧電源を 延命した場合			計器数 ( )内はPAM	直放	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:高圧電源を 延命した場合			
代替電源(交流)による給電手順等 照開所設備を使用した号 機間融通による代替電源 (交流からの給電)	判断基準	計器名称	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—	—	—	
		6-A, B母線電圧												
	操作	計器名称	8(4)	8	2	2	—	—	—	—	—	—	—	
		6-A, B母線電圧(他号 印)												
	操作	計器名称	4	4	4	4	—	—	—	—	4	4	—	—
		A, B-デューゼル発電機 電圧(他号印)												
		計器名称	4(2)	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		6-A, B母線電圧												
		計器名称	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
		4-A1, A2, B1, B2母 線電圧												
操作	計器名称	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	A, B-直流コントロール センタ母線電圧													
	計器名称	8	8	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	A, B, C, D-計器用交 流分電器電圧													
操作	計器名称	12	12	12	12	—	—	—	—	12	12	12	—	
	A, B-デューゼル発電機 電圧, 電力, 周波数(他号 印)													

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.14 電源の確保に関する手順等 代替電源(直流)による給電手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響		ハブメータ 分類	選定理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響		
					A/直流電源を 延命した場合	B/直流電源を 延命した場合						A/直流電源を 延命した場合	B/直流電源を 延命した場合	
蓄電池(非常用)による直 流電源からの給電	判 断 基 準	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表 示等による運転状態にて監視可能	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
	操 作	A, B-直流コントロ ールセンター母線電圧	2	2	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表 示等による運転状態にて監視可能	M/C補機 操作器表示 (運転状態) 直流C/C補機操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—	
後備蓄電池による代替電 源(直流)からの給電	判 断 基 準	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表 示等による運転状態にて監視可能	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
	操 作	A, B-直流コントロ ールセンター母線電圧	2	2	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表 示等による運転状態にて監視可能	M/C補機 操作器表示 (運転状態) 直流C/C補機操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—	
可搬型直流電源用発電 機及び可搬型直流変換 器による代替電源(直流) からの給電	判 断 基 準	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表 示等による運転状態にて監視可能	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
	操 作	A, B-直流コントロ ールセンター母線電圧	2	2	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表 示等による運転状態にて監視可能	M/C補機 操作器表示 (運転状態) 直流C/C補機操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 1.14 電源の確保に関する手順等 代替所内電気設備による給電手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	選定理由	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合			
代替所内電気設備による 交流の給電(代替非常用 発電機)	判断基準	6-A, B母線電圧	4(2)	2	1	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表示等による運転状態にて監視可能	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—
		A, B-直流コントロール センター母線電圧	2	2	1	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表示等による運転状態にて監視可能	M/C補機 操作器表示 (運転状態) 直流C/C補機操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—
	操作	A, B, C, D-計装用交 流分電圧電圧	8	8	0	0	③	関連警報の有無、各補機の操作器表示等による運転状態にて監視可能	計装用インバータ故障警 報	—	—	—	—	—
		代替非常用発電機電圧、 電力、周波数	6	6	0	0	③	代替非常用発電機の運転状態を確認することにより監視可能	代替非常用発電機電圧、 電力、周波数、(見場)	6	6	6	6	6
代替所内電気設備による 交流の給電(可搬型代替 発電機)	判断基準	6-A, B母線電圧	4(2)	2	1	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表示等による運転状態にて監視可能	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—
		A, B-直流コントロール センター母線電圧	2	2	1	1	③	関連警報の有無、各補機の操作器表示等による運転状態にて監視可能	M/C補機 操作器表示 (運転状態) 直流C/C補機操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—
	操作	A, B, C, D-計装用交 流分電圧電圧	8	8	0	0	③	関連警報の有無、各補機の操作器表示等による運転状態にて監視可能	計装用インバータ故障警 報	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 【7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失】

a. 主給水流量喪失時に補助給水機能が喪失する事故

対応手段	抽出バウメータを計測する計器					抽出バウメータの代替バウメータを計測する計器					評価			
	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響		計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響		推定ケース				
				A:直接電源を 延命した場合	B:供給電源を 延命した場合			A:直接電源を 延命した場合	B:供給電源を 延命した場合					
プラントリアップの確認  補助給水系の機能喪失の判断 及び喪失時の対応。	出力領域中性子束	4	4	2	①	2	—	—	—	2	2	1	1	ケース 1
	出力領域中性子束									3(3)	3	3	0	ケース 4
	出力領域中性子束									3(3)	3	0	3	ケース 4
	出力領域中性子束	2	2	2	1	①	—	—	—	4	4	2	2	ケース 1
	中性子領域中性子束	2(2)	2	2	1	①	—	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 1
	補助給水流量									2(2)	2	1	1	ケース 3
	補助給水流量	3(3)	3	3	1	①	2	—	—	3(3)	3	2	1	ケース 3
	補助給水流量									12(6)	12	3	0	ケース 4
	補助給水流量									3(3)	3	3	0	ケース 4
	補助給水流量	2(2)	2	2	1	①	1	—	—	2(2)	2	1	1	ケース 2

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、有効性評価の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 【7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失】

### a. 主給水流量喪失時に補助給水機能が喪失する事故

対応手段	抽出バウメータを計測する計器				補助的バウメータ 分類理由	抽出バウメータの代替バウメータを計測する計器				評価		
	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響				
			直後	A.直後電源を 延命した場合				直後	A.直後電源を 延命した場合			
1次系のファイアードアクトブリード(1/2)	1次冷却材温度(広域-高阻側)	3(3)	3 (全)	0	①	1次冷却材温度(広域-低阻側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低阻側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	1次冷却材温度(広域-高阻側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	加圧器圧力	4	4	0	0	ケース 1	
	加圧器水位	4(2)	4	1	①	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1	
	高圧注入流量	2(2)	2	1	①	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6	
						1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6	
						1次冷却材温度(広域-高阻側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6
						燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
						加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	ケース 3
						原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 3
					格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 3	

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A,B,C:当該ループの計器数

この範囲については、有効性評価の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 【7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失】

a. 主給水流量喪失時に補助給水機能が喪失する事故

対応手段	抽出バウメータを計測する計器				補助的バウメータ 分類理由	抽出バウメータの代替バウメータを計測する計器				評価	
	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			計器数 ( )内はPAM	SBO影響		推定ケース		
			直後	A.直後電源を 延命した場合			直後	A.直後電源を 延命した場合			
1次系のファードアードブリード(2/2)	燃料取替用水ピッチ水位	3(2)	2	1	①	1	1	2	1	1	ケース 2
	格納容器再循環サンプ水位(広域)										ケース 2
	B-格納容器スプレイン冷却器出口積算流量(AAM用)	1						1	0	1	ケース 2
	B-格納容器スプレイン流量	1						1	0	0	ケース 2
	前庄注入流量	2(2)						2	1	1	ケース 2
	低庄注入流量	2(2)						2	1	1	ケース 2
	水てん流量	1						1	0	0	ケース 2
	代替格納容器スプレインサンプ出口積算流量	1						1	0	1	ケース 2
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)						12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
	1次冷却材粗度(広域-低粗側)	3(3)		3 (全)	1 (B)	①		3 (全)	0	3 (全)	ケース 4
1次冷却材粗度(広域-高粗側)	3(3)		3 (全)				3 (全)	3 (全)	0	ケース 4	
1次冷却材圧力(広域)	2(2)						2	1	1	ケース 4	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

【 】の範囲については、有効性評価の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。



# 重大事故等対処に係る監視事項

## 【7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失】

a. 主給水流速喪失時に補助給水機能が喪失する事故

対応手段	抽出バウメータを計測する計器				補助的バウメータ 分類理由	抽出バウメータの代替バウメータを計測する計器				評価		
	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直後電源を 延命した場合		バウメータ 分類	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A:直後電源を 延命した場合	B:直後電源を 延命した場合
蓄圧注入系動作の確認	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①		加圧器圧力	4	4	0	ケース 1	
							1次冷却材圧度(広域-低 圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
再循環運転への切替(1/2)							1次冷却材圧度(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
							格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 2
							B-格納容器スプレイ倉 出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	ケース 2
							B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	ケース 2
							高圧注入流量	2(2)	2	1	1	ケース 2
							低圧注入流量	2(2)	2	1	1	ケース 2
							充てん流量	1	1	0	0	ケース 2
							代善格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2

\*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ30点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数  
A,B,C:当該ループの計器数

【 】の範囲については、有効性評価の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 【7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失】

a. 主給水流量喪失時に補助給水機能が喪失する事故

対応手段	抽出バウメータを計測する計器				補助的なバウメータ 分類理由	抽出バウメータの代替バウメータを計測する計器				評価	
	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直後電源を 延命した場合 B:直後電源を 延命した場合		バウメータ 分類	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後		SBO影響 A:直後電源を 延命した場合 B:直後電源を 延命した場合
再循環運転への切替(2/2)	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	ケース 1	
	原子炉下部キャビティ水 位	1	0	—	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	ケース 1	
	格納容器水位	1	0	—	—	格納容器水位	1	1	0	ケース 1	
	燃料取替用水ピット水位	2(2)	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	ケース 2	
	補助給水ピット水位	2(2)	1	①	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	ケース 2	
	B-格納容器スプレイン(冷 却器出口積算流量(AAM 用))	1	0	—	—	B-格納容器スプレイン(冷 却器出口積算流量(AAM 用))	1	1	0	ケース 2	
	代替格納容器スプレイン ポンプ出口積算流量	1	0	—	—	代替格納容器スプレイン ポンプ出口積算流量	1	1	0	ケース 2	
	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	ケース 1	
	1次冷却材流量(広域-低 圧側)	3(3)	0	①	—	1次冷却材流量(広域-低 圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	1次冷却材流量(広域-高 圧側)	3(3)	0	①	—	1次冷却材流量(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
1次冷却材流量(広域-高 圧側)	3(3)	0	①	—	1次冷却材流量(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6	
1次冷却材流量(広域-高 圧側)	3(3)	0	①	—	1次冷却材流量(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6	
燃料取替用水ピット水位	2(2)	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
加圧器水位	4(2)	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
原子炉容器水位	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	

\*1 常用系から接続を差出すことで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、有効性評価の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 【7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失】

a. 主給水流速喪失時に補助給水機能が喪失する事故

対応手段	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価		
	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響				
			直後	A:直後電源を 失った場合 B:直後電源を 失った場合			直後	A:直後電源を 失った場合 B:直後電源を 失った場合			
蒸気発生器水位回復の判断	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	3 (全)	①	-	3(3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	ケース 1	
	1次冷却材圧力(広域-低 圧側)					3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4	
	1次冷却材圧力(広域-高 圧側)					3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4	
	蒸気発生器水位(狭域)					12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 1	
	1次冷却材圧力(広域-低 圧側)	3(3)	3 (全)	①	-	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4	
	1次冷却材圧力(広域-高 圧側)					3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4	
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)			2(2)	2 (全)	2	1	1	ケース 4
	補助給水ピストン水位					2(2)	2 (全)	2	1	1	ケース 3
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	①	-	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 3
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)			12(6)	12 (全)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 3
主蒸気ライン/圧力	補助給水ピストン水位	2(2)	2 (全)	①	-	3(3)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	ケース 2
	1次冷却材圧力(広域-低 圧側)	12(6)	3 (全)	-	-	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
	1次冷却材圧力(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	①	-	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
	1次冷却材圧力(広域-低 圧側)	3(3)	3 (全)	①	-	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
炉心出口圧力	炉心出口圧力					1	1	1	0	1*1	ケース 1
	1次冷却材圧力(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	①	-	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
	炉心出口圧力					1	1	1	0	1*1	ケース 1

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

の範囲については、有効性評価の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 【7.1.1.2 次冷却系からの除熱機能喪失】

a. 主給水流量喪失時に補助給水機能が喪失する事故

対応手段	抽出バウメータを計測する計器					抽出バウメータの代替バウメータを計測する計器					評価	
	計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響		計器名称	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響			
				A:直後電源を 延命した場合	B:直後電源を 延命した場合				A:直後電源を 延命した場合	B:直後電源を 延命した場合		
余熱除去系による炉心冷却	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
	1次冷却材流量(広域- 高圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
	1次冷却材流量(広域- 低圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
						格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
						1次冷却材流量(広域-低 圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
						炉心出口流量	1	1	1	0	1*1	ケース 1
						1次冷却材流量(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
						炉心出口流量	1	1	1	0	1*1	ケース 1
						加圧器圧力	4	4	4	0	0	ケース 1
						1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 6
					1次冷却材流量(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6	
					原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 1	
					サブクール度	1	1	1	0	0	ケース 6	
					1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 6	
					1次冷却材流量(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6	

\*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ30点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A/B/C:当該ループの計器数

この範囲については、有効性評価の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 【7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失】

a. 主給水流速喪失時に補助給水機能が喪失する事故

対応手段	抽出バウメータを計測する計器				補助的なバウメータ 分類理由	抽出バウメータの代替バウメータを計測する計器				評価	
	計器数 ( )内はPAM	直後	SBO影響 A:直後電源を 延命した場合	B:直後電源を 延命した場合		計器名	計器数 ( )内はPAM	直後	A:直後電源を 延命した場合		B:直後電源を 延命した場合
1次冷却材温度(広域- 高圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低 圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
1次冷却材温度(広域- 低圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	1次冷却材温度(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
1次系のファイアードアクトブリード停 止	2(2)	2	1	1	—	加圧器圧力	4	4	0	0	ケース 1
	2(2)	2	1	1	—	1次冷却材温度(広域-低 圧側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	1次冷却材温度(広域-高 圧側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
	2(2)	2	1	1	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	2(2)	2	1	1	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
	2(2)	2	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
	2(2)	2	1	1	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3

\*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

【 】の範囲については、有効性評価の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

# 重大事故等対処に係る監視事項

## 【7.1.2 全交流動力電源喪失】

a. 外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能の喪失及びRCPセンサーLOCAが発生する事故

対応手段	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
	計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ( )内はPAM	SBO影響			
			直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
全交流動力電源喪失及びグラントリップの確認	出力領域中性子束	4		4	2			2	1	ケース 1
	出力領域中性子束							3(3)	3(全)	ケース 4
	出力領域中性子束							3(3)	3(全)	ケース 4
	中間領域中性子束	2		2	1			4	2	ケース 1
	中性子領域中性子束	2(2)		2	1			2(2)	1	ケース 1
	中間領域中性子束							2	1	ケース 1
	加圧器圧力							4	0	ケース 1
	蒸気発生器水位(領域)							12(6)	3(全)	ケース 5
	主蒸気ライン圧力							12(6)	3(全)	ケース 5
	格納容器内循環ポンプ水位(領域)	2(2)		2	1			2(2)	1	ケース 5
	1次冷却材温度(広域-高温側)							3(3)	3(全)	ケース 6
	1次冷却材温度(広域-低温側)							3(3)	3(全)	ケース 6
原子炉容器水位							1	1	ケース 1	
サブクール度							1	0	ケース 6	
1次冷却材圧力(広域)	4(2)		4	1			2(2)	1	ケース 6	
1次冷却材温度(広域-高温側)							3(3)	3(全)	ケース 6	

全:すべてのループの計器の合計数  
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、有効性評価の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。